

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（12）、（12）」

2. 日時：令和5年3月9日（木）17時35分～20時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、田島主任技術研究調査官

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他10名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 審査資料の品質確保について

| 時間      | 自動文字起こし結果  |
|---------|--|
| 0:00:01 | はい原子力規制庁の鈴木ですそれでは九州電力審査資料の品質確保についてということでヒアリングの方を始めたいと思います。                       |
| 0:00:14 | 本件は2月20日ですかね、面談の方で標準応答スペクトルを考慮した地震動評価の審査資料。                                      |
| 0:00:22 | これの伝達関数の比較の図が誤ってましたということで面談で報告を受けて、それを今後その原因分析ですねこういったところを審査会合で、                 |
| 0:00:32 | 審議するために、3月9日、  |
| 0:00:36 | ここ付けですねこういうヒアリング資料がありますので、まずこれの説明を九州電力から聞いて、我々の方で確認をするというものです。では早速、資料の方ですね。      |
| 0:00:49 | T P G 019、これの資料の説明をお願いします。   |
| 0:00:56 | はい。九州電力のイマバヤシです。改めて2点にはなりますけども、標準応答スペクトルを考慮いたしました地震動評価におきまして、                    |
| 0:01:07 | これまでにご説明した資料に誤りがございました。  |
| 0:01:10 | これまでヒアリング審査会合に柔軟にお答えをいただいている中、このようなことになりまして誠に申し訳ございません。                          |
| 0:01:20 | はい。本日は誤りににつきまして、方針当社の品質保証体系の中に基づきまして、是正措置活動の計画を取りまとめましたので、その資料についてご説明をさせていただきます。 |
| 0:01:34 | 表紙をめくっていただきまして、右下1ページが目次となります。2ページに全体概要を示してございます。                                |
| 0:01:42 | まず一つ目ですが、玄海原子力発電所の評定とスペクトルを考慮した地震動評価に係る審査会合資料及びヒアリング資料、                          |
| 0:01:52 | 添付書類がございます。伝達関数の比較に用いる図面、こちらが本来であれば、 $Q = 12.5$ の結果を掲載すべきところを、                   |
| 0:02:03 | $Q = 100$ の結果を誤って掲載していたことを確認いたしました。今後これをナンバー1と交渉させていただきます。                       |
| 0:02:13 | で、その後、個々の不適合の処置に合わせまして、玄海に限らず川内も含めまして、同様に図の誤りがいないかということすべての像対象に、確認を行いました。        |
| 0:02:27 | その結果、伝達関数の図、先ほどナンバー1とまた異なる図面でございますけども、伝達関数を用いる図につきまして、                           |
| 0:02:39 | 誤って掲載したいと。これが既許可の時に説明した結果を、改めてご説明するために準備した図面だ。                                   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:02:50 | でしたけれども、これが当時の検討段階の結果、   |
| 0:02:55 | それに基づいて図を策定していたものであったと、ということが確認されました。  |
| 0:03:00 | これを踏まえましてこのNo. 1、ナンバー2 それぞれにつきまして、当社の改善措置活動プロセスに基づきまして、不適合処置、是正措置を行ってございます。  |
| 0:03:11 | その下に、  |
| 0:03:13 | 表で今回の検討し、いたしました結果を記載してございますけれども詳細については後以降のページでご説明をさせていただきたいと思っております。         |
| 0:03:24 | めくっていただきまして右下3ページをお願いいたします。  |
| 0:03:27 | まず、ナンバー1の誤り、こちらの発見の経緯についてのご説明となります。  |
| 0:03:36 | こちらの下ナンバー1につきましましては、玄海原子力発電所の地下構造モデルの取りまとめ資料を、現在作成を行っておりますけれどもこの作成を行っている最中に、 |
| 0:03:48 | 当社の資料作成者が技術的な視点を持って会合資料の全体的な整合性、こういった点も含めた確認を行っている際に、                        |
| 0:03:59 | 第1103回審査会合資料におきまして、図面の誤りがあることを発見いたしました。                                      |
| 0:04:06 | で、この図面につきましましては、表に示します通り、経営審査会合で3回、ヒアリングで3回、おなじみを掲載しております。                   |
| 0:04:16 | 時期列でいきますと、ヒアリングの2022年1月12日、こちらで一番最初に図面を提示してございましてこの図面が、                      |
| 0:04:27 | 計6回にわたりまして、同じ図が掲載されていたというものになります。  |
| 0:04:35 | 右下4ページをお願いいたします。   |
| 0:04:37 | ところ、こちらに図面の正誤表をつけてございます。   |
| 0:04:41 | 左側の図が誤りだった図になるんですけども、この図の緑のライン、これが $Q = 12.5$ の図として記載するべきところ。                |
| 0:04:54 | 実際のデータといたしました $Q = 100$ で作図していた図であったと。                                       |
| 0:05:01 | あと、右側に衛星の増を記載してございます。  |
| 0:05:07 | はい。右下5ページをお願いいたします。  |
| 0:05:10 | 続きましてナンバー2の方になります。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:05:13 | 難波には、先ほど申しました通りナンバー1の誤りがあったということ<br>を踏まえまして、不適合の処置に合わせまして、他に図面がないかとい<br>うことを、        |
| 0:05:26 | すべての図面について確認をした、いたしました結果もう一つ見つかっ<br>たと。  |
| 0:05:30 | 該当箇所が、ヒアリング審査会合資料、それから、その審査会合に基づ<br>き、基づくヒアリング資料、この2件について、誤りがあったというこ<br>とが確認されております。 |
| 0:05:42 | 右下6ページをお願いいたします。   |
| 0:05:45 | こちらが図の誤りがあったものを示してございます。   |
| 0:05:50 | 下段の方、  |
| 0:05:52 | をご覧くださいんですけども第1026回審査会合資料9、P90の抜<br>粋でございまして、  |
| 0:05:59 | こちらに、グラフといたしましては、今回の同定結果、それから下段<br>に、既許可時の同定結果というものを示してございます。                        |
| 0:06:10 | この既許可というのは、新規性基準審査におきまして説明、ご説明させ<br>ていただいた資料、こちらをこの図面を修正する、編集するという作業<br>をした結果こちらに、   |
| 0:06:25 | 貼り付けて、いるものなんですけど、  |
| 0:06:29 | 赤線の同定結果のラインが、こちらと同じ、先ほどと同様にデータを取<br>り違えておりまして、既許可の当時の検討段階のデータを、                      |
| 0:06:41 | 持ってこの図を作っていたというものになります。  |
| 0:06:48 | で、こちらちょっとナンバー2につきましては、ちょっと少し、江崎、<br>わかりにくいところもございまして、ちょっと詳細について、ここ、                  |
| 0:06:59 | ページが飛びますけども、右下の31ページをお願いいたします。   |
| 0:07:11 | 右下31ページに、同じく1000、26回の審査会合資料を抜粋した形で掲<br>載してございます。こちらの左側の方、P84と書いてございますけど<br>も、        |
| 0:07:23 | こちらに第、赤囲みの中にございますが、第402回審査会合資料という<br>ことで新規性基準審査におけます、                                |
| 0:07:33 | A C A 指導をそのまま画面をコピーして貼り付けたものがございまして。   |
| 0:07:38 | こちらが横軸が線形軸になってございまして、今回この右側の図を<br>作るに当たりまして、一つはその線形事項対数軸に変換変更すると。                    |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:07:51 | いう点、それからもう1点が、この左側の図ではクエイク路線の理論伝達関数のラインがございますけども、これを削除すると。                     |
| 0:08:03 | いう図面の編集作業を行おうとしたところ、データを取り違え行ってしましましてこの赤のラインが、本来の                              |
| 0:08:15 | 同定結果のラインと間違う図になってしまったと。  |
| 0:08:20 | いうものになります。   |
| 0:08:25 | ですので同じ会合資料の中でも、既許可の時に説明した資料、こちらについては、そのまま持ってきてるんですけども少し、それを加工してしまつた資料右側の89ページ。 |
| 0:08:38 | 図面におきましてそこが間違つて間違つた図を掲載してしまつたというものになります。                                       |
| 0:08:47 | では、またちょっとページを戻っていただきまして、7ページをお願いいたします。   |
| 0:08:54 | 7ページが、センサー後の流れということで今回の経緯に当たる部分を抜粋する形で、示してございます。                               |
| 0:09:04 | はい。  |
| 0:09:06 | まず、当社は、前年度の委託業務の成果品報告書になりますけども、これを用いまして、図面の編集を委託先の方に依頼してございます。                 |
| 0:09:18 | 委託先は当社からの依頼を受けまして、担当者が図面を作成、   |
| 0:09:24 | へ作成といいますか編集を行ひまして、委託先のチェックしチェック者によるチェック、それから被承認者によるチェックを行った上で当社に図面を            |
| 0:09:37 | 提出してございます。当社はその受け取つた詰めをもとにし担当者が、資料作成者が資料を作成しまして、資料をその後、チェックをする、別の者がチェックをしまして、  |
| 0:09:50 | 承認するという流れで審査資料を提出するという流れで審査資料を作成してございます。                                       |
| 0:09:57 | 右下8ページ、こちらが当社の心証体系に基づきます改善活動の流れを示したものになります。                                    |
| 0:10:05 | まず事象の発生のところでは、ここ、  |
| 0:10:09 | 不適合の発生や気づき事項があつた場合は状態報告を作成します。   |
| 0:10:14 | その後、不適合の判断を行うというのがまず最初のプロセスになります。  |
| 0:10:20 | その後、   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:10:23 | この発生した事象の問題性、重要性ですね、に応じた処置を割り当てるためにスクリーニングということで分類でありまして振り分けといったことを実施いたします。                     |
| 0:10:35 | その結果、C A P会議ということの中に諮りまして、部門業務の横断的観点で審議、確認を実施いたします。   |
| 0:10:47 | そして不適合の処置といたしまして蓋まず処置の計画を策定、それから実施ということになります。で、この中で、類似事象の有無の確認というものを行います。                       |
| 0:10:59 | その後は是正措置ということで、原因分析、それから是正処置の必要性、処置計画の策定実施、そして有効性のレビューをやっていくということになります。                         |
| 0:11:12 | ここで不適合処置の中で類似書の有無の確認という記載がございますけれども、こちらは今回の例でいきますと他にも誤りがないかというちょっと確認を行っているというの該当いたしますけれども、      |
| 0:11:24 | ここからまず下に矢印が伸びております。   |
| 0:11:29 | まずこちらでは原因分析を実施する前にもう類似書の有無がないかどうかというところを確認いたしますけれども、  |
| 0:11:36 | これが原因分析を実施した後、丸井次長の有無を踏まえた性展開の中に、どのように、こちらの方に活用すると。   |
| 0:11:47 | 不適合処置の中で実施したものが十分かどうかという観点で見活用いたしまして、ここでもしまだ足りないということであればまたこの是正措置の中で追加の対応をやっていくと、というような流れになります。 |
| 0:12:05 | 右下9ページをお願いいたします。  |
| 0:12:10 | こちらが先ほどのそのプロセスに基づきまして実施した内容を、まずナンバーワンの事象について整理したのになります。   |
| 0:12:19 | まず事象の発生といたしまして、図面はの誤りを発生いたしましたのが、2月の16日、  |
| 0:12:27 | その後、速やかに状態報告を発行し、翌日の2月11日に発行してございます。  |
| 0:12:34 | この事象につきましては、図面の誤りというものが審査に影響することから、原子力安全に関する文書の不備として不適合という判断を行ってございます。                          |
| 0:12:48 | スクリーニングアップ会議につきましては、こちらの今回の件の内容につきましてスクリーニング実施いたしまして、原子力発電に影響を及ぼす状態、                            |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:12:59 | ということに分類いたしまして、是正措置を行うということをお話させていただきます。                                    |
| 0:13:07 | 続きまして 10 ページをお願いいたします。  |
| 0:13:10 | 不適合の処置といたしまして、まず、今回、図面の誤りがあったということで、その当該審査資料をまず修正をいたします。                    |
| 0:13:19 | その不適合の処置に合わせまして、本件審査会合に記載してございますすべての図について誤りがないことを確認することを計画いたしまして、実施してございます。 |
| 0:13:31 | 今回のその誤りがないかの確認につきましては右下の囲みで書いてございますけれども、                                    |
| 0:13:37 | 本件の審査が移行資料を対象にいたしまして、その中のすべての図面、  |
| 0:13:43 | を確認してございます。   |
| 0:13:45 | 図面につきましてはチェックポイントと書いてございますが、共通のところでありに、まず全体に関係する共通するものということで、               |
| 0:13:55 | 審査会合資料の図面と、成果品、これは委託先の報告書になりますが、こちらの報告書と、                                   |
| 0:14:05 | 見比べまして、図面の誤りがないかということを目視で確認をいたします。  |
| 0:14:10 | 今回の地震動評価につきましては、その下に地震、伝達乾燥とスペクトルといった、下の複雑な図面もございますので、                      |
| 0:14:20 | こういった図面につきましては、見着目するポイントということで、例えば伝達関数でありますと、周波数によりまして形状が、                  |
| 0:14:31 | 二つに変化いたしますので、例えば始点終点、それから P E E K 一次ピーク二次ピークであったり、逆にこのタニの部分、そういった変曲点。       |
| 0:14:42 | におきます値を確認するという作業をやってございます。  |
| 0:14:48 | 続きまして 11 ページをお願いいたします。  |
| 0:14:52 | こちらここからが是正処置になります。まずこちらは全体の流れといたしまして、                                       |
| 0:15:00 | まず原因分析をフローにし、の流れに従う形で実施いたしまして、  |
| 0:15:06 | その特定した原因に基づきまして是正処置の計画を策定いたします。   |
| 0:15:12 | 水平展開の必要かどうかという検討におきまして、この不適合処置におけます、類似事象の有無の確認結果を活用するという流れになります。            |
| 0:15:25 | えっと、12 ページをお願いいたします。  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:15:29 | まずこちらがナンバー1のまず事象の整理をしたもの、事象整理それから問題点の抽出をしたものになります。                          |
| 0:15:36 | 下の図をご覧くださいますと、先ほどもありました当社と委託先の流れをし、最近してございますけども、                            |
| 0:15:45 | まず、当社の方から委託先に対しまして、委託報告書の中の912.5の、  |
| 0:15:53 | 伝達関数の図面を線形時から対数軸に変換するように、変更するように依頼してございます。                                  |
| 0:16:01 | それを受けまして委託先の担当者は、図面の図編集作業を実施しておりますけども、その作業の中で、元データの参照先、                     |
| 0:16:11 | 謝りまして、Q=100の伝達関数の図面を編集しております。   |
| 0:16:17 | ここでまず誤りが発生したということになります。   |
| 0:16:21 | その後委託先の中で、チェック、それから承認ということで、別のものが確認を行ってございますけども、編集された図面というのが、               |
| 0:16:32 | 旧コード100のデータを使った伝達関数であるということを感じないまま、当社の点、停止したということでここで誤りの見逃しが起こっております。       |
| 0:16:45 | 審査、その下の審査資料の作成チェックこちらが当社になりますけども、   |
| 0:16:49 | 当社の担当者資料作成者は、この   |
| 0:16:55 | 委託先から提出されました図面、これの  |
| 0:17:00 | 中身が急行100の下、ものであるという気づかないまま審査書を作成し、同様にチェック者、それから承認者も気づかないままここで誤りの見逃しが発生してると。 |
| 0:17:13 | いうものになります。  |
| 0:17:17 | 13ページをお願いいたします。   |
| 0:17:23 | こちらが原因分析になります。  |
| 0:17:28 | まず、今回の原因分析につきまして、こちら、委託先になります。次ページで当社ということで、それぞれについての原因分析を実施でございます。         |
| 0:17:38 | まず13ページが委託先になりますけども、  |
| 0:17:41 | 問題点といたしまして、2点、図面の編集段階の誤りが発生したと。これは先ほども申し上げた通りですけども、                         |
| 0:17:50 | 委託先の担当者が、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 0:17:55 | 図面の軸の編集作業だけではなくて、既往のデータまでさかのぼって作業を実施してしまったとその際に扱うデータを間違えた。   |
| 0:18:05 | それからチェック段階での話になりますが、チェック段階では、そのさかのぼって前もってデータをもう持ってきたと、いうことをその変更を知らず知らないまま、チェックしてしまった。                      |
| 0:18:18 | 対数事故への変更という観点だけでチェックしてしまったということが問題点としてあげられます。  |
| 0:18:25 | これを踏まえまして原因といたしましては、   |
| 0:18:28 | 2点ございまして、まずは思い込みによるデータ参照元の誤りというのが1点。   |
| 0:18:36 | そして2点目が、担当者と承認者からのコミュニケーション不足というふうにことを抽出してございます。   |
| 0:18:45 | この担当者と承認者間のコミュニケーション不足という点なんですけども、   |
| 0:18:49 | この担当者が、なぜ、データをさかのぼって引っ張ってきたかというところで、今回のこの評定とスペクトルを考慮した地震動評価で、いろいろな検討をやってございまして、                            |
| 0:19:04 | そのデータを参照していくというところに、膨大な検討ケースのデータがあったということから、担当者混同避けるため、間違っただデータを避けるために、あえて                                 |
| 0:19:18 | 元データに辿った方が良かったらという判断をいたしまして、作業を実施していると。それが結果的にあまり繋がったんですけども、   |
| 0:19:28 | この作業について、チェック者、それから承認者と共有ができてなかった。   |
| 0:19:33 | ということになります。  |
| 0:19:35 | Aとさ、そういう共有ができてなかったということでチェック者承認者につきましても、そういう作業をやっているということを知らないままチェックしたということで、水が確認できなかったということでコミュニケーション不足と。 |
| 0:19:49 | ということでこの2点を注視してございます。  |
| 0:19:52 | 14ページをお願いいたします。こちらが当社の原因分析結果になります。   |
| 0:19:58 | 当社につきましては、資料作成者、それからチェック者承認者につきましても、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:20:06 | 図面の修正については、対数軸に変更されていると、いうことの確認をもって、資料案を作成し、資料を承認したと。                               |
| 0:20:17 | いうところが問題点ございまして、重視した原因といたしましては、その図面の編集があった場合、あったかもしれないという場合の確認方法に対する認識が不足していたと。     |
| 0:20:29 | いうことで、  |
| 0:20:33 | いうことで、編集前後の付け、図面の整合性の確認を行っていなかったというのが1点。  |
| 0:20:41 | そして2点目で、審査資料に対する図面に、審査資料に用いた図面に対する正しい視点でのチェックが足りてないと。                               |
| 0:20:50 | これは、  |
| 0:20:52 | 先ほど審査資料作成したと同様になりますけども、やはり図面の編集前後の整合性を確認できてなかったと。                                   |
| 0:21:03 | いうことでこの2点を原因として注視してございます。   |
| 0:21:08 | 15ページをお願いいたします。   |
| 0:21:11 | 15ページが、こちらは同じ、今度はナンバー2の話になります。ナンバー1では今のような分析を行いまして新たにまた難波にも確認されておりますので、             |
| 0:21:23 | ナンバー1と同様のプロセスで実施してございます。  |
| 0:21:27 | まず事象の発生といたしましてはこのナンバー2が確認されたのが、2月28日ございまして、この事象が発見された後速やかに状態報告を発行してございます。それが3月1日です。 |
| 0:21:40 | 以降の流れにつきましては先ほどナンバー1と同様でございますので、1016ページまでのご説明は割愛させていただきます。17ページをお願いいたします。           |
| 0:21:52 | はい。   |
| 0:21:53 | 17ページ、こちらが、事象の整理それから問題点の抽出ということになります。事象熱の整理、図で示してございますけども、こちらも同先ほどのナンバー1と、          |
| 0:22:04 | 同様の経緯をたどっているというものになります。   |
| 0:22:09 | そして、これをもちまして問題点といたしましては、委託先では、図面の編集段階での誤り発生、それからチェック段階での誤りの見逃し、                     |
| 0:22:21 | 当社では、資料作成それからチェック段階での誤りの見直しというのを、問題点として抽出してございます。                                   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:22:29 | 18 ページをお願いいたします。  |
| 0:22:31 | こちらが 10、委託先の原因分析になります。  |
| 0:22:36 | 問題点のところ、先ほどナンバー1 とちょっと、救え違うところございまして、まずこちらの作業は、既許可のデータ聞く間に実施したときの図面の編集ということで、 |
| 0:22:50 | そもそもやっぱデータをさかのぼる必要があったと、ということで 2013 年度のファイルをまず探索してございます。                      |
| 0:22:58 | その際に、既許可の審査会合資料に掲載した資料、データではなくて、その前段階で検討していたものを、                              |
| 0:23:09 | このデータを使いまして、  |
| 0:23:12 | 図面の編集作業を行っていたと。   |
| 0:23:15 | あります。   |
| 0:23:17 | はい。   |
| 0:23:22 | こちらにつきまして、辻田議員につきましては、まず、1 点目としまして思い込みによるデータ参照元の誤りということで、                     |
| 0:23:33 | こちらちょっと日付がある幾つか書いてございますけども、当初 9 月 9 日、すいません、10 月 2 日に作成されたデータ。                |
| 0:23:44 | 本来であれば持ってくるべきところ、9 月 9 日に作成したデータ、こちらがこちらを参照すべきだということで、                        |
| 0:23:54 | 勘違いをしてしまったと。  |
| 0:23:58 | ということがまず 1 点。   |
| 0:24:00 | そして 2 点目ですけども、担当者と承認者間のコミュニケーション不足ということで、書いてございますけども、                         |
| 0:24:07 | このデータにつきましては、委託先の中ではファイル管理、それから加藤加古どんなか検討を行ってきたかというのは整理して社内で、                 |
| 0:24:18 | 周知されていたというものなんですけども、これは担当者が、  |
| 0:24:24 | 適切に把握してなかった。一方、承認者はわかっているだろうと。  |
| 0:24:29 | ということで、十分な米疎通ができない、できていなかったと。   |
| 0:24:34 | ということで、このような誤りに繋がったということでこちらにつきましても先ほどコミュニケーションが足りてなかったということの原因として、注視してございます。 |
| 0:24:46 | 19 ページをお願いいたします。  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:24:50 | 19 ページは当社の原因分析結果になります。こちらにつきましては旧先ほどの流れでご説明しましたようにナンバー1 とちょっと同じ経緯をたどってございまして、  |
| 0:25:01 | 当社におきましては、   |
| 0:25:05 | 委託先に依頼した内容が対数事項に変更、それから図の  |
| 0:25:12 | 一部の図をちょっと削除すると。  |
| 0:25:14 | いうことで、依頼していたということとその変更点だけを確認するにとどまっていたと、いうことで、誤りが見誤り分神野を誤りを見逃してしまったと。          |
| 0:25:26 | いうことで、図を、先ほどと同様に、図面編集があった場合の確認方法に対する認識不足、それから正しい視点でのチェック、                      |
| 0:25:35 | の不足ということ、いう 2 点を通知してございます。   |
| 0:25:39 | 20 ページをお願いいたします。   |
| 0:25:42 | 20 ページが、是正措置計画になります。   |
| 0:25:47 | こちらナンバー1 ナンバー2 ともに実施するものですが、これまでの原因分析の結果、ナンバー1 とナンバー2 っていうものが、同様の事象で増員の同様の原因で、 |
| 0:26:00 | 発生した事象であることから、共通の是正措置計画を立案してございます。   |
| 0:26:07 | 今回の事象につきましては、当社といたしましては、2 点、先ほど申しましたように、図面の編集があった場合の確認方法に対する認識不足、              |
| 0:26:18 | それから、チェック時の正しい視点での負のチェックができていなかったということが原因ということで、                               |
| 0:26:24 | 是正措置といたしましては、図面の編集前後での施工性を確認すると、いうこと。  |
| 0:26:31 | それから 2 点目に、審査書のチェック、   |
| 0:26:36 | する際の双方項目、これはやっぱ具体的に具体化する必要があるだろうと。   |
| 0:26:42 | ことで、まずは、報告書とその編集後の図面を照合して誤りがないか。   |
| 0:26:50 | それから、そのチェックをする際に、技術的な視点を有する当社社員が、審査資料のチェック、どういう観点でチェックするかという項目を具体化いたしまして、      |
| 0:27:01 | それをルールに反映していくという話。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:27:04 | それから3点目には教育ということで、この3点を是正措置計画として考えてございます。  |
| 0:27:13 | 次に21ページをお願いいたします。  |
| 0:27:18 | こちらが委託先におけます是正措置計画になります。   |
| 0:27:21 | 原因につきましては、思い込みによるデータ、参照元の誤り、それと、担当者承認者間でのコミュニケーション不足が原因ということ为先ほどのページで5、整理してございますが、 |
| 0:27:34 | この2点に対しまして是正措置計画といたしましては、  |
| 0:27:38 | やはり図面の編集前の作業、作業内容を徹底させるということ。具体的にはその参照ファイルのネーミングルールを、リストに明記して共有するというものでありまして、      |
| 0:27:51 | その承認者が担当者に指示する際には、手順書それから指示書等を使いまして、具体的な目的条件方法、こういったところを明確化して共有すると。                |
| 0:28:03 | いうことをやって考えてございます。  |
| 0:28:07 | そして二つ目といたしまして、   |
| 0:28:11 | 今回はデータの取り違えということがございましたので、その図面の元データとなる図面は、ちゃんと参照できているかと。                           |
| 0:28:22 | いうことを確認するというのが二つ目。そして3点目に、教育、この3点を計画として挙げてございます。                                   |
| 0:28:34 | 22ページをお願いいたします。  |
| 0:28:37 | 是正措置におけます水平展開の検討整理ということで、  |
| 0:28:42 | 是正措置計画の必要性に、   |
| 0:28:45 | すいません是正措置の必要性評価におきましては、ナンバー1の不適合処置に合わせまして実施した粒子状の確認を踏まえて、是正措置における水平展開の検討整理を実施すると。  |
| 0:28:57 | ということで、ちょっとこれ少しわかりにくいところございますので、ちょっとページ戻りますけども、8ページをちょっとご覧いただきたいと思っております。          |
| 0:29:10 | 8ページが、   |
| 0:29:13 | 改善措置活動の全体の流れを示してございますがこの中の不適合措置の二つ目のところに、類似事象の有無の確認というのがございます。ここから矢印が、             |
| 0:29:24 | 下に伸びていまして、この類似事象の有無の、  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:29:27 | 確認結果を、水平展開の検討に活用するという矢印がございまして、この部分の検討をしているものが、22 ページになります。                      |
| 0:29:39 | 22 ページの左上の囲み、こちらが、ナンバー1 と 2、ナンバー1 とナンバー2 の是正措置の必要性の評価ということで、原因、まず原因分析結果といたしましては、 |
| 0:29:50 | 当社、当社が2 点はいた、委託先が2 点、挙げてございます。当社は、図面編集の認識、編集があった際の認識不足、それから正しい視点でのチェック不足、        |
| 0:30:02 | 委託先については、思い込みにより算定した参照元の誤り、それからコミュニケーション不足ということで整理してございます。                       |
| 0:30:09 | これに、右側の囲み、これが不適合処置に合わせて実施した確認でございますけども、これを照らし合わせたときに、是正措置の必要性評価。                 |
| 0:30:21 | A がどうなるかということを検討してございます。   |
| 0:30:25 | それが一応下の囲みになりますけども、   |
| 0:30:29 | 類似事象の確認の範囲につきましては、今回の原因分析の結果から、是正措置の対応につきましては、                                   |
| 0:30:39 | 委託報告書から編集した図面、   |
| 0:30:42 | に設定されると考えてございまして、  |
| 0:30:46 | この不適合処置で先に実施しました図面につきましては、すべての図面を対象に実施しておりますので、類似事象の確認の範囲に内容され直されます。             |
| 0:30:57 | 二つ目のポチになりますが、本件の審査会后、  |
| 0:31:02 | に記載されましたすべての地震に対しまして、  |
| 0:31:05 | この今回の誤りというのが、ファイルの参照元の誤りだったということを踏まえまして、この水平展開として、委託先におきましては提出図面、                |
| 0:31:18 | ファイルの参照元の照合を実施すると。   |
| 0:31:22 | いうことを水平展開として実施いたします。   |
| 0:31:26 | 最後の終わりになりますけども、今回の事象からいられた教訓を生かすとともに、継続的改善を通じまして審査資料の品質確保に努めていくということを考えてございます。   |
| 0:31:39 | その次のページからは参考の参考資料になりまして、   |
| 0:31:44 | 参考資料1 につきましては事象のナンバー1 があった審査会合資料、それから、ヒアリング資料につきましては、                            |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:31:54 | 記載してございます。  |
| 0:31:57 | それ、ちょっとページ打ってございませぬけども 30 ページ以降が、資料のナンバー2 の誤りがあった資料について記載をしてございます。        |
| 0:32:09 | 説明につきましては以上になります。   |
| 0:32:19 | 規制庁の名倉です。   |
| 0:32:21 | ちょっとまず最初にお聞きしたかったのは、  |
| 0:32:24 | これ改善措置活動。   |
| 0:32:27 | そして、今はどういうフェーズなんでしょうか。承認確認ということでは、  |
| 0:32:32 | 承認は今どこまで終わってるんですかもう全部終わっちゃってる。  |
| 0:32:45 | 九州電力の盛田でございませぬ。今のCRを発行して、使用料、   |
| 0:32:52 | 今の状態報告、8 工事終わりました、是正処置の処置を実施中、同時に原因分析については完了しておりますと、そういったような状況になってございませぬ。 |
| 0:33:05 | 規制庁のナグラです 8 ページのところていくと今、どこまでは、   |
| 0:33:09 | 承認済みですか。  |
| 0:33:18 | 九州電力盛田でございませぬ。  |
| 0:33:21 | 目的、   |
| 0:33:23 | 一番左側に四つ矢印があると思ひます。ございませぬが不適合の処置として、不適合の処置計画の策定は、策定までは完了しております。            |
| 0:33:34 | これを実施している段階です。同時に是正処置については、   |
| 0:33:39 | 是正処置計画の策定といったところまでは完了していると、そういったような状況でございませぬ。                             |
| 0:33:46 | はい。わかりました。じゃあ、今まで途中ってことですね不適合の処置についても、                                    |
| 0:33:51 | 計画書のあれ事象の有無の確認というところの計画書の策定は終わっているだけけれども、それ以降の不適合の処置はまだやって継続中と。           |
| 0:34:03 | 九州電力の盛田でございませぬ。はい。その通りです。   |
| 0:34:06 | 是正措置についてはまだ今実施中ということですね。  |
| 0:34:10 | 是正処置を計画を立てた後に今実施をしている段階といったところてす。うん。                                      |
| 0:34:19 | ちゅうことは今の段階で、  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してあります。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:34:21 | これ一越冬会合とかにかけて、中身ある程度もしかしたらひっくり返るかもしれないんだけどひっくり返っても別に大丈夫っていう理解でよろしいですね。                                       |
| 0:34:30 | 御社のその品証活動そのものに対して影響を与える可能性はあるんだけどそういうそういうことは、  |
| 0:34:36 | あんまりんなに心配してないっていうことでいいですか、心配ないということでもいいですね。  |
| 0:34:41 | はい。疑似連絡ハマダでございます。  |
| 0:34:44 | 新しい知見が発生しましたらですねまた再度、我々の方で計画年の負債にと同様のプロセスに乗せまして、再度見直すことになりますので、その対応はそのように従って対応させていただきます。                     |
| 0:34:55 | 以上です。  |
| 0:35:04 | はい。す。規制庁鈴木ですけれども。  |
| 0:35:07 | 一応説明があった資料から順繰りにすいません事実の確認を、   |
| 0:35:13 | させてもらいます。  |
| 0:35:15 | まず2ページ目なんですけれども、   |
| 0:35:18 | これは二つ目の丸ですね、川内を含むと言っていて、これ結局出てきたのは川内は結果的に、   |
| 0:35:28 | 今の話だと、まだだから川内も玄海もう類似事象の確認が進んでいて今後川内でも出てくるかもしれないし玄海で追加で出てくるかもしれないけれども、現時点で、                                   |
| 0:35:40 | 一見ナンバーツーのものが発見されてそれは玄海でしたと。  |
| 0:35:43 | そういうことですね。   |
| 0:35:48 | 計上電力のイマバヤシです。はい。今おっしゃられました通り、川内につきましては資料の誤りというのは、現時点で確認されてございません。原価につきましては今日本日も説明しましたこの2件といいますか2種類の事案でございます。 |
| 0:36:04 | はい、わかりました。   |
| 0:36:07 | 別に何かいついつまでにと後切るつもり全くないんですけど、その類似事象の確認ってのは一応めどとしては、いつぐらいまでのその工程で組んでる。   |
| 0:36:18 | ですから一応計画はあるんですよね。多分やり方とボリュームからすると、このぐらいで確認できるとかっていうのは、   |
| 0:36:27 | はい。九州電力のイマバヤシです。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 0:36:31 | 今現在実施してます 22 ページをお願いいたします。  |
| 0:36:39 | こちらの  |
| 0:36:40 | として下の囲みの丸の二つポツ目になりますけれども、   |
| 0:36:46 | 今回そのファイルの参照、ファイルの三種、データの参照の誤りだったということで、現在、委託先の方にて、提出いただいた図面とのデータの照合を実施してございまして、                     |
| 0:37:00 | こちらについての見通しといたしましては現在実施中であるんですけども、あと数日中に終わる予定で今現在、主作業を実施いただいているところです。                               |
| 0:37:14 | すいません規制庁鈴木です。私が確認しているのは、不適合処置の中での、その計画書内容ってすみません、ページ飛んじやって申し訳ないですが 10 ページですかね。                      |
| 0:37:27 | こういう計画でやっていて、   |
| 0:37:30 | 先ほど言った委託先が確認するんです。  |
| 0:37:33 | というのは、  |
| 0:37:35 | ここに書いてあるのは、御社の職員が介護資料の図面と委託先から成果品として提出されただから、主語は九州電力ですよ。  |
| 0:37:45 | これで確認といってこれが、不適合処置での類似事象の確認はこうやります。   |
| 0:37:52 | で、  |
| 0:37:54 | 今の話は何ていうか、ここの計画の中なんですとか外なんですとか、何か判然としない場合はとかっていうのはもちろん注釈ついてるんですけど、                                  |
| 0:38:04 | 先ほど 22 ページだと、その 1 個上がそのまさしく類似事象の確認範囲は、多分 10 ページでやってる類似事象の確認範囲というのが方が来訪されますみたいになってるんで、               |
| 0:38:16 | 今の話を聞くと関係がよくわからないんですけど。   |
| 0:38:20 | 九州電力はトクナガです。先ほど鈴木さんがご指摘された通りですね不適合の処置の中で、類似事象の確認ということで計画書の内容書いている 10 ページのところ、                       |
| 0:38:32 | につきましてはこれは確認を終わってございまして、で、この不適合の処置を踏まえまして是正処置計画を立ててございまして。  |
| 0:38:42 | その是正措置計画の中で、委託先が立てた税調経営計画、21 ページでいきますところの②番、今後、こういう図面の編集を行う場合は元データの参照をしっかりと行うというところの是正処置計画を立てましたので、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:38:59 | この水平展開が 22 ページに書かれているんですけども、これの是正処置における水平展開として、現在、委託先の方でこれまで図面編集として出していただいたもののファイルの参照を行っている最中という位置付けでございます。     |
| 0:39:16 | はい、すみませんちょっと念のため確認ですけど 10 ページのこの計画書の内容と書いてあるものは、これは終わっている。はい。先ほど不適合をの処置計画の策定をして実施中のものがあるような、                    |
| 0:39:31 | 話だったんですけどそれはまさしくその間違えた図面を正しい図面に直して置き換えるという作業は、それはもちろんその審査資料に正しい申請書にするという行為なんで、それはまだ終わってないってそういう意味ですね。はい、わかりました。 |
| 0:39:46 | はい。   |
| 0:39:48 | はい。   |
| 0:39:49 | すみません。続きで   |
| 0:39:53 | ちょっと 3 ページ目のところからなんですけど、  |
| 0:39:57 | 3 ページ目のところでそもそもどうして発見したんだというのがあってこの経緯は前回面談でも、お伺いしていると、玄海の地下構造のまとめ資料作り 3 歳 2 ということで、                             |
| 0:40:10 | そこで当社御社の資料作成者が技術的な視点を持って別に過去に技術的な姿勢を持たずにし資料いつも確認したわけじゃもちろんないと思うんですけど、   |
| 0:40:21 | ここで言われてる資料作成者ですね、これ多分 7 ページぐらいのところに、今回関係している。   |
| 0:40:29 | またその物によっては 1 人 2 人いるのかもしれませんが、関係しているその全体の流れがあって、御社のところだと資料作成者という方がいて、これが 1 人目ですね、これ同じパターンですかね。                  |
| 0:40:45 | 九州電力の徳永です。同一人物になります。  |
| 0:40:50 | はい、わかりました。  |
| 0:40:51 | 社内でいくと、この資料作成者という方と、  |
| 0:40:57 | 流れからいうとフロー委託先の方に行って委託先の方の承認者がいてこれが 2 人目。  |
| 0:41:04 | そこから指示を受けるたん委託先の担当者がいて 3 人目。  |
| 0:41:08 | 二つ目 1 個飛ばして、そのチェック過程のところで、委託先のチェック者がいて 4 人目で承認者担当者再掲ですね。これでまた御社に戻っ。   |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:41:20 | で、資料作成者に戻ります。事業を作ってページに添付して、御社の中でのチェックでチェック者というのがいて5人目、4社の中の承認者がいて6人目ということで、             |
| 0:41:32 | 一応この関わってのは一応役割としては6ってということですかね。  |
| 0:41:39 | 電力の徳永です。先ほど鈴木さんからお話があった通りこの業務の流れの中で出てくる登場人物というのは6名になります。                                 |
| 0:41:49 | はい。ありがとうございます。   |
| 0:41:51 | で、   |
| 0:41:59 | はい。この委託先なんですけど、  |
| 0:42:02 | この前年度委託業務の成果品用いとかってこうあるんですけど、もともとのこの前年度の委託業務委託報告書でこれ解析をさ評価解析をさせて、                        |
| 0:42:13 | そういう会社なんですかね。  |
| 0:42:16 | まずその前年度の委託業務の方ですね。   |
| 0:42:19 | 前年度の委託業務と、今回その編集を行った業務、これどちらも同じ会社の分ものになります。  |
| 0:42:27 | 解析会社やった、実施した会社になります。   |
| 0:42:32 | わかりました解析をやった会社であって同一の会社ですね前年度も今回も同一と。  |
| 0:42:38 | はい。ちなみに、御社のこのときの委託業務の時の担当だとか、今回の担当の方とか、委託先の方の担当というこの委託業務の時と、                             |
| 0:42:50 | 今回の時とで何か違ってあるんですか。   |
| 0:42:54 | 九州電力の徳永です。基本、大きく変わってない。  |
| 0:43:00 | 状態です。  |
| 0:43:02 | はい、赤津後川内と玄海で何か違いあります仙田委員の方の結構は別会社とか、   |
| 0:43:09 | 川内の方は別の担当とか、そういうのありますか。はい。九州電力の徳永です。川内の方に他依頼させていただいてる会社さんにつきましてまた別の会社になります。              |
| 0:43:21 | で、当社の方も、複数人さ、複数人で審査資料作っていますのでタイミングタイミングによっては別のものが資料作成しているところではあるんですけども基本的にこの玄海の分につきましては、 |
| 0:43:34 | 同じ人間が作成をしているということになります。  |
| 0:43:41 | わかりました。委託先自体がそもそも違うわけですね。  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 0:43:46 | はい。   |
| 0:43:47 | ただやってる業務というか多分もう納品させる報告書とかそもそもをよそ同じような検討をさせて同じような結果をもって、  |
| 0:43:57 | 言う、そこは変わらないわけですね。   |
| 0:44:04 | はい。九州電力の徳永です鈴木さんのご指摘の通りでございます。  |
| 0:44:10 | はい。ちょっとあの会議別に大量の間違いがあったわけではないんですけど、ちょっとなぜ玄海であって川内ではなかったのかなんか担当者が違うのか、会社が違うのかなと素朴な疑問であったわけです。                                      |
| 0:44:23 | あとそうすると一前川内の方の業者と比較してもしょうがないんですけど、  |
| 0:44:30 | それぞれチェック者とか承認者っていう方々ですね、例えば委託先の承認者であればこれ御社の技術的な資料作成担当者から依頼を受けてその内容を把握する人間なので、   |
| 0:44:45 | 当然技術ば他の人ではあると思うんですけど、   |
| 0:44:49 | この担当者って方網を地震動というか強震動とかこういうのをやられる、技術は他の  |
| 0:44:58 | 方、多分同じ会社とおっしゃってるのでおそらく単にその図を工面するかっていう方ではなくて、きちんと中身技術を持った方だと思うんですけど。   |
| 0:45:08 | チェック者っていうのは、これも技術型なんですかそれとも、いわゆる品質的なチェックをするような方なんですかね、これ委託先の方もそうですし、御社の中のこの承認者とかですね、チェック者っていうのも、                                  |
| 0:45:21 | ちょっとどういうわけあれをそもそも持っている方なのかっていうのを教えて欲しいんですけど。  |
| 0:45:25 | はい。九州電力の徳永です。まず、当社の方からご説明いたしますが、資料作成者チェック者、承認者は基本的には土木建築技術者の力量を持った人間が、対応してございます。  |
| 0:45:40 | 委託先につきましては承認者につきましてもこれまでずっと当社の地震動評価に携わっていただいた方でございますので、基本的にはすぐできる小河原氏、持たれてる方となります。  |
| 0:45:55 | で、実際に実際に実施された担当者の方も基本的な解析をまわして、やられてきているベテランの方だというふうにお伺いしておりますので、そういった方だということでございます。チェック者も当然その中身がわかってないとチェックはできませんのである程度力量があった方だと。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:46:11 | いうふうに理解をしてございます。以上でございます。  |
| 0:46:16 | はい、わかりました。それぞれの方と、   |
| 0:46:20 | あと具体的にはいえ全く同じ役割を持ってチェックするわけじゃないと思うんで、  |
| 0:46:28 | 例えば御社の中で言うとそのし添付した審査書類あまりが何か新宮チェックっていうとやっぱりこれは技術的な面でも、きちんとチェックする役割を担っているわけですね。   |
| 0:46:40 | そうするとこの承認者っていうのはこの方も何とかおんなじ作業するんですかねそれともこの方っていうのはそういう細かいミスを気づくという立場っていうのは、何か例えば、資料の構成とかですね。                              |
| 0:46:52 | きちんとその、この図からこういう評価を不正して、全体の論理が通っているかとか、そういう立場の方なのか、ちょっとこの辺、資料作成チェックっていったときの全体像の中で、                                       |
| 0:47:04 | そもそもこの承認者っていう方ですね、どういう責任を負ってるのかなというのが、ちょっとお聞きしたか。  |
| 0:47:12 | 九州電力の徳永です。まず資料作成者がチェックを行うとこれはもう当然作成した者がチェックを行うというのは当然のことだと思いますけれども、きちんと自分が作成したものが、本当に技術的にこうきちんと落とせ込めているかというのをチェックをいたします。 |
| 0:47:28 | 続きましてチェック者につきましては基本的には資料作成者と同じ目線でチェックを行うんですけども、違った人間が別のダブルチェックというような表現もちょっと書いてはいるんですけども同じ内容について                          |
| 0:47:41 | 別の人間が、改めてこの資料をチェックするということで、ダブルチェックを行っているというものでございます。歳出でさ、最後の承認者につきましては、  |
| 0:47:52 | 全体構成に主眼を置いて資料内容確認等も書いてございます。で、先ほど鈴木さんからご指摘があった通りそういう資料の全体の流れの中できちんと適正に構成されているかというところも、                                   |
| 0:48:03 | チェックをしてございますがそれに加えて、チェック者、明日、もともとそのチェック者が行っているチェックの内容、プロセスですね、中身というようなきちんとこういうチェックができていますか。                              |
| 0:48:14 | という確認を行ったり、プロセスの確認を行う、抜け漏れこういう視点できちんとチェックできてますかね。例えば河内例でちょっと見せてくださいって、方針で行ってきてますというのと、抜き打ち的に確認するとかそういった、                 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:48:29 | 全体のプロセスみたいなものを確認する。  |
| 0:48:31 | んと位置付けかと考えてございます。以上でございます。   |
| 0:48:38 | はい。わかりましたおおよその御社と委託先との間で、どういう流れで一般的な作業が行われているかっていうのは、わかりました。                             |
| 0:48:48 | そうしましたらですねちょっと当時のその委託業務で出てきた成果品がどうかっていうのちょっとまた後で確認したいと思うんですけど。                           |
| 0:48:58 | 8 ページは一般的な御社の中の作業の流れなので飛ばして、   |
| 0:49:04 | 9 ページ目。  |
| 0:49:05 | 最初の事象ですね。確かに御社から面談でということで話があったのは2月20日な、その時にもお聞きしましたが、                                    |
| 0:49:15 | 2月16かに気づきまして、一応これが事象の発生という定義になって、  |
| 0:49:20 | 状態報告を出して我々は並行して我々には面談できたと。   |
| 0:49:26 | もしここで  |
| 0:49:28 | 原子炉管理に関する文書の不備として不適合の判断をして、そのあとスクリーニングしCAP会議にかけて、これを分類をして是正措置を実施する必要があるものだというので意思決定をしたと。 |
| 0:49:44 | で、時系列的に言うと当然2月17L後なんですけどこれっていつぐらいの話なんですかねちょっとこう、   |
| 0:49:52 | このCAP会議があってそのあと不適合の処置の計画を策定して着手して、実施して例えば類似事象の有無の確認を始めて、それが完了してとかですね。                    |
| 0:50:03 | 原因分析が終わって、実施して、是正措置計画幾つつ作成して承認されたのかとか、この辺結構短期間だったので、何か時系列がよくわからないんですけど、                  |
| 0:50:21 | 1009州電力の伊藤です。  |
| 0:50:25 | まず事象、貧しい状態報告を行ったのが記載の通り2月の17でございます。そこからスクリーニングCAP会議というところまず、                             |
| 0:50:35 | のところについては2月の27日に実施してございます。   |
| 0:50:43 | はい。2月の実施20名に実施してそこで、   |
| 0:50:49 | そのあとそのあととは言いつつも、類似事象の有無の確認は多分それに先んじてできることはとって発着者してたんでしょけど、                               |
| 0:51:00 | はい、27はそれですと。   |
| 0:51:04 | そのあと不適合の処置の計画の策定だとか或いはその是正措置計画の策定とかっていうのは、当然これ等ですよ。                                      |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:51:19 | 今月入ってからっゆうことですか。   |
| 0:51:24 | はい。九州電力の伊藤です。ご指摘の通り 2 月の 27 に最初の C A P 会議をやりまして、そこでの分類是正処置を実施するというのを決定した後に、    |
| 0:51:38 | 3、3 月の 2 日に会議を行いまして、その中で処置の計画と不適合の是正処置の計画といったところを社内の会議体にかけてございます。              |
| 0:51:56 | 申し訳ございません日についてちょっと訂正をさせていただきます。江藤さん、最初の会議、スクリーニングについては 2 月の 27 でございます。         |
| 0:52:06 | 続いての不適合の処置と是正の処置の計画といったところについては 3 月の 3 日になります。                                 |
| 0:52:18 | はい。ちょっと待ってくださいねそうすると、何か流れで言うと 8 ページに戻るんですけど、                                   |
| 0:52:25 | はい。  |
| 0:52:26 | くくりで C A P 会議があってそこで、いわゆる不適合処置、是正措置が必要なものですねと、不適合の措置の計画を作って実施しましょう。            |
| 0:52:37 | 原因物、ちょっと何か今のお話だと不適合の処置の計画を策定して、  |
| 0:52:42 | ある程度進めて原因分析を実施してっていうのは、この不適合ちょっと是正措置っていうのは、だから、                                |
| 0:52:49 | そのもとオーバーラップしてるんですかね同じ日に、何かこの流れを見ると原因分析とかある程度不適合の処置のほうも、                        |
| 0:52:56 | 進んだり類似の自書有無の確認とか進んでから、   |
| 0:53:01 | ぜひ事例措置の必要性の評価をしたり、策定したりとかっていう、   |
| 0:53:06 | 必ずしもこの時系列通りにこの 8 ページ上から進んでるわけじゃなくて、  |
| 0:53:10 | この不適合処置の計画の策定実施とか是正措置の計画の策定実施っていうのは、オーバーラップしたり、同じ日に作られたりっていうのは、それは御社の一般的なんですか。 |
| 0:53:22 | 同じ 3 月 3 日に移動しちゃったんで、  |
| 0:53:25 | 九州電力の守田でございます。基本的にはこの上から下の流れに沿って実施して参ります。ただ、その C A P 会議の日程によりまして、同じ項目、         |
| 0:53:38 | 不適合の処置の計画、実施状況、及び  |
| 0:53:42 | 原因分析の結果是正処置。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:53:44 | のけあ、是正処置の計画、それを同時にC A P会議で測るといったことは一般的に行ってございます。   |
| 0:53:52 | はい。何で必ずしもその不適合の処置の、  |
| 0:53:56 | 実施が完了しないと軽い事象の有無の確認が完了していないと、次のステップに進めないという仕組みではなくってことですね、同じ日、わかりました。  |
| 0:54:08 | はい。野辺さんの流れはわかりました。   |
| 0:54:11 | 次先ほどちょっと一度出た10ページ目なんですけれども、  |
| 0:54:18 | これで類似の誤り自体を正すっていうのはもちろんそれで類似のその誤りの確認をということで、   |
| 0:54:27 | これ図面と図面の目視で確認というふうになってるんですけど、  |
| 0:54:33 | 確かにもともとナンバーワンもナンバーツーも多分目視で発見したんだと思うんですけど、  |
| 0:54:39 | そのナンバーワンの方は、図でいうと、どこで見た方がいいんですかね   |
| 0:54:47 | 目視で確認した時に確かにこれはおかしいなという気づいたのは、小町が4ページ目の左でいうと、この辺りのところなんですかねこれ。   |
| 0:54:59 | 九州電力の徳永です。4ページのところでいきますと緑の線が今回の該当箇所になってございます。左の部分につきますと一次ピークについては同じ、2Hzあたりぐらいでぐっと上がっているような形をとっているんですけども、次の二次ピークのところを見ていただきますと、 |
| 0:55:17 | 左の方は同じように  |
| 0:55:20 | 伝達関数がぐっと上に上がっているところに対しまして、   |
| 0:55:23 | 今回、正しいと書いているところについては、そこまでは上がっていないような落ち込みになっているというような状態でこの左と右を比較することで、見えてくる。  |
| 0:55:34 | 違いを見えてるというような状態でございます。   |
| 0:55:39 | いや、ごめんなさい私が聞きたかったのは4ページは、もちろんその正しいものを、   |
| 0:55:44 | 存在した状態で見ているんですけど、  |
| 0:55:47 | あくまで、  |
| 0:55:49 | そそういう比較をもししてたわけじゃないんですねこれ2月の16日時点では、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 0:55:55 | 右がない状態性がない状態で、誤った方を見て、どこどこで何かおかしいなと思ったんでしょうかという話だったんで、多分同じ二次ピークの話なんだと思うんですけど、                 |
| 0:56:08 | 九州電力の徳永です。すいません。主、ご趣旨理解いたしました。  |
| 0:56:12 | もともと、ちょっと最初の頃の技術的な視点を持ってというところも含めましてちょっとご説明をしますと、一番最初に出してた時にはやっぱり一次ピークは大体概ね合っているという形で、        |
| 0:56:24 | 御説明に使ってた図ということで大体やっぱり一次ピークを見ていたというのが、技術的な視点として見てございました。その後、審査を進める過程におきまして、                    |
| 0:56:35 | 観測事実と整合するしないというような話があったとその中で、0.5秒の周期とか、回っているかとかどうかという審査を今後進めていく過程の中で論点がこう広がっていったと。            |
| 0:56:49 | それを最終的に今まとめようとしているということを頭に念頭に置いたときにこれをもう一度見ると、この二次ピークのところがちょっとたち過ぎてないかというのが気づいたというのが趣旨でございます。 |
| 0:57:05 | はい。どういうその当初と今回とどういう過程でっていうのはよくわかりました。   |
| 0:57:11 | はい。   |
| 0:57:13 | 同じようにですねナンバーツーの方すみませんナンバーツーの事象自体はこの後聞くんですけど、端末の方はだから6ページなんですよね。これが、                           |
| 0:57:24 | すいません。これ確かにこれ、正誤で比較すると、   |
| 0:57:32 | 上の方のE L - 17.0 - 90のところこれ左と右で見れば違うんですけど、  |
| 0:57:38 | これE L 11 からE L - 17.0 の方の   |
| 0:57:43 | この縮尺だとあんまり違い見えないですけどこっちも間違えてるんですが間違っ。   |
| 0:57:48 | てるんですけど、確かにこの   |
| 0:57:51 | 10、211 から 10 - 17 レベルだとあまり違いが見えてないだけなのか、上は間違ってる、下が町が、明日の 17 から、                               |
| 0:58:01 | マイナス何か 90 の方だけ間違ってるのか。  |
| 0:58:04 | これどっちなんですかね。  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 0:58:06 | 九州電力の徳永です。先ほど鈴木さんからご指摘のあった点、これにつきましてまず結論からご説明いたしますと、上も下も間違っているというものでございます。                             |
| 0:58:16 | で、まずこれ発見した経緯からご説明しますと鈴木さんのご指摘の通り、EL-17-90を見比べると、グラフの図がおかしいと、いうふうに見え、見て取れるかと思いますEW方向とかを見ていただきますと、       |
| 0:58:32 | 充血付近で、一応1ぐらいの値をたたいているところを、下でいくと0.8とかそのくらいをたたいているというところでこれを見比べると、EL-17と-90の伝達関数の比較で見ると、                 |
| 0:58:45 | 見て取れるというものでございます。そのあと、これはもともとナンバー1の事象を踏まえまして、チェックをして、目視で確認していたところで見つけたというもので、                          |
| 0:58:55 | この結果を踏まえまして委託先の方に、間違えてますよねというふうな確認をした時に、これ、同時に同じファイルデータで、上の図も書いてあるということで、                              |
| 0:59:06 | -17-11-17のデータもこれ参照している形になってございますので、確認をしたところ、これもほぼほぼデータとしては、ほぼ同じ値をたたいているんですけど、デジタル値で見ると違ってたということでございます。 |
| 0:59:24 | はい、わかりました。ありがとうございます。  |
| 0:59:27 | ですすねそれで再びその10ページのところに戻って確かに今みたいなやつは $Q = 12.5$ と9500で、   |
| 0:59:38 | 等のピークがぼんと立つので目視であれおかしいなと。  |
| 0:59:43 | いうところで気づくのかもしれないんですけどこれもともと  |
| 0:59:48 | どのぐらい細かく別パターンを検討したかにもよるんですけど、例えば、前回だと前回少し見直す92.5と16、何見直すって言った時に、                                       |
| 0:59:59 | あのスペクトルとか妥当なんかほとんど、そんなに大きく、パッと見て違いがよくわかりませんねっていうのもあるじゃないですか。   |
| 1:00:07 | そういうものっていうのはこのなんか目視で委託成果品っていうのはもともとのものがあってそれと提出されたもの。  |
| 1:00:15 | テーマ場合によっては軸が、線形と対数で変わってるようなものを何か目視で見てぱっと見て、  |
| 1:00:21 | わかるもんなんですかねと。  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:00:23 | いうのと、そういうふうなもうどんどんそういうものが大量にあったとしてもそういうものがもう判然としない場合はとって、どんどん委託先に確認させて、チェックしているのか。  |
| 1:00:33 | いや何かこの段階で、目視で見て何か明らかにおかしいなっていうのはいいんですけど、むしろ総気づきにくいような細かい違いみたいな、発見していくようなものっていうのは、   |
| 1:00:44 | どうやって見つかるんだろうというところがあって、  |
| 1:00:47 | そこら辺は、作業としてはどうなんですかね。   |
| 1:00:52 | はい。九州電力の所です。今回の計画書の中で実施した内容ということでいきますとまず当社の方から、委託の成果品のデータと、   |
| 1:01:02 | 床審査会合取会大城も、2で添付していた図というのを、そこに書いてますチェックポイントに基づきまして基本的にそれでチェックを行うということで、  |
| 1:01:15 | 基本的には、やっぱりピークが立ってるところあたりが間違っていないかというのを、目で見ながら確認をするってのが基本線としてチェックを行っているというものでございます。  |
| 1:01:25 | 厳密にやっぱ微妙な先ほどの、確かに我々のチェックでは先ほど都築さんからご指摘があった通り、E L 11 L - 17のようなチェックというのは、わからなかったというのが正直なところで、                              |
| 1:01:37 | そういうものは、見つけれなかったということではあるんですけども、一応基本、基本、そういうものが、多少他将来でも違うものがあるものがあれば、ちょっと委託先にもちょっと確認をしていただくというような流れをしていたというものが今回のこの計画書なり、 |
| 1:01:54 | 基本的には目で見えていたというものでございます。  |
| 1:01:58 | 九州電力の明石でございます。まずこの10ページの段階でのチェック、については鈴木さんのおっしゃる通り、目視で、先ほどの   |
| 1:02:10 | デジタル化でたどらないとわからないよ、谷津まで網にかかるかという問い冊、やはりそれは厳しいと思います。   |
| 1:02:17 | なので、なのでと言うと言い方は変ですけども、今回類似事象の確認ということでやった、この10ページの計画に則ってやったこと、   |
| 1:02:28 | 他にないかっていうものが十分だったかというのを先ほどちょっとお話ししました水平展開、  |
| 1:02:34 | その中で、確認した結果これやっぱり委託元でのこういう取り間違いを防ぐにはデータがちゃんと整合していることを確認しないと、  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:02:45 | わからないよねっていう、原因と対策が出てきましたので、では、水平展開の中ではこの 10 ページの計画に加えて、委託先の方でデータを突き合わせると、                      |
| 1:02:57 | ということまでやらないとわからないよねっていうことで、そのような水平展開として今それを実施中という状況でございます。                                     |
| 1:03:08 | わかりました。はい。   |
| 1:03:11 | はい。  |
| 1:03:14 | そうです。じゃ、次ですね次が少しその不適合処置から是正措置の方ですねナンバーワン事象で、11 ページに書いてあるのは一般的な御社の是正措置の流れということでしょうか、12 ページですか。  |
| 1:03:31 | 12 ページでいく。   |
| 1:03:37 | これ、御社の方から委託先に依頼しましたっていうことで、この中にと<br>いうもので、これもほぼここに書いてある通りの依頼なんですかね具体的<br>ちょっとどういう依頼の仕方。        |
| 1:03:52 | どうしたのかということで、多分、前回の面談の時には委託報告書の中<br>当該図面なんですかね、そのページの図面なのかが、報告書、前回面談<br>時の 18 ページ誤りの経緯というところに、 |
| 1:04:06 | それから 2021 年 3 月 23 日っていう図面があって、  |
| 1:04:11 | 多分その図面を何、向こうに何か指し示しながら何か送りながらかくか<br>くしかじか、この図面をこういうふうにすることという、                                 |
| 1:04:21 | 何か口頭で依頼したのかちゃんとここどういう依頼の仕方というか、ど<br>ういう文面というか別に依頼文書を出してくれというわけでもないんで<br>すけど、                   |
| 1:04:29 | そこら辺に入れば、まさしくここに書いてあるぐらいの内容なんですか<br>ね。   |
| 1:04:37 | すいません。九州電力の伊東です。依頼の方法としてはメールでの依頼<br>を行っております、実際具体的にどうやったかというところにつきましては、                        |
| 1:04:47 | 我々として軸を変えて欲しいという図面の該当するページを、メールの<br>添付資料につけた上で、ここの部分についての軸を線形軸から対数軸へ<br>の変更をお願いしますと。           |
| 1:05:02 | というようなところを文章に書いて依頼を出してございます。   |
| 1:05:07 | はい。  |
| 1:05:08 | わかりました。  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:05:10 | 今回、そのイサキが委託先に行った後ですね。  |
| 1:05:15 | ちなみにこの委託先の方のその次にも委託先の方での、いわゆる原因分析みたいのを書いてあるんですけどこれは御社の職員が委託先の職員それぞれ関係した職員を聴取して、          |
| 1:05:27 | 原因を分析したりされてるんですよね。委託先から、原因分析が終わりましたと言ってもらってるわけじゃないんですよね。                                 |
| 1:05:34 | 直接本社がこの承認委託先の承認者だったり、担当者だったり、チェック者だったりに話を聞いていると。   |
| 1:05:41 | 理解で見えていいですね。   |
| 1:05:45 | はい、九州電力の徳永です。委託先の方につきましては基本的に承認者の方にまずは検討し、あと、新品証のチームをこの先の品証チームの方に作られた是正処置計画等を教えていただきまして、 |
| 1:06:00 | その内容を確認しているという状況でございます。直接この担当者にお話を聞き、  |
| 1:06:05 | 伝わった御社にはいないわけですね。はい。   |
| 1:06:09 | わかりましたちょっとその前提で見えてい。   |
| 1:06:13 | 委託先の承認者の方はその実際に作業する担当の方に指示をしますと。   |
| 1:06:20 | この方が、御社からすると、ちょっと想定外の作業方法でしたということなんですけど、   |
| 1:06:29 | これもともとの委託成果報告書の図面だったり各ページの図面を起こした時のデータが、さらに大元のその元データだったりっていうのが、                          |
| 1:06:40 | ちょっと全体がどうなってるのかよくわからなくて、   |
| 1:06:44 | 委託先の方が、実際に作業したのは13ページにある音訊元データの保存先を参照しましたと。  |
| 1:06:54 | ということで、  |
| 1:06:56 | ただ御社としては多分そういうところまでただどって作業するんだと思っていなかったということだと。  |
| 1:07:03 | 思われるのですが、  |
| 1:07:05 | 確かに、実際図面があって図面を単なる出力した図面ですね。ただその出力した図面の、   |
| 1:07:12 | いわゆるエクセルなのか別なんですけど、データがあって、さらにさらにもっと全体版の大元のデータがあって、                                      |
| 1:07:21 | 当社としては画像7日間ずっと対になってるそのものでそれを   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:07:28 | ふう横軸の方を縦軸だったりいじってあげれば良いってその程度の作業だと思って依頼をされたんですかね。  |
| 1:07:37 | 一方で、ちょっとだからそこら辺がそもそもこの担当者の方がやられたように、元データとらないと土台作業できないというか、伊田部の報告書の方にはほんとに画像だけがあって、                             |
| 1:07:48 | この道本にたどらないとできないような作業だったのか、いやいやそんなことをせずとも、ちゃんとそれは委託報告書のそれぞれの図と、その図に対応したその横軸縦軸をいじったり、                            |
| 1:08:00 | 例えばQ = 100 枚いらないから削ろうといったら、そこを削るだけで済むような、そういうその対になった管理ができていたのか、山本からデータに遡らないとそもそもできない作業なんですなのがちょっとわからなかったんですけど。 |
| 1:08:14 | それわあ、どっちなんですかね。  |
| 1:08:18 | 九州電力の伊藤です。この辺の経緯について少し詳しく説明をさせていただきますと、もともと今回の委託報告書といったところが2020年度の委託報告書として出てきているものでございます。                      |
| 1:08:35 | で、2021年度に入ってから、本件の審査対応といったところで、委託先の方に、このQ = 100の伝達関数であったり、Q = 12.5の伝達関数、                                       |
| 1:08:49 | 或いはその他の検討業務といったところを、いろいろと依頼をしていたところでございます。その中で一応ヒアリングにお出しさせていただいた資料の中にQ = 12.5の伝達関数の、                          |
| 1:09:04 | 扇形塾のものが、等を一度掲載をさせていただいておまして、我々としてはそのヒアリングに出した図面の軸を変更するといったところで、  |
| 1:09:15 | そこの図面の添付をお渡しして委託先、メールする時に添付をした上で、送付をしているといったところですよ。  |
| 1:09:24 | ですので我々としてはそういった、2021年の検討の中で、一度作った図面の軸の変更という認識でしたということになります。  |
| 1:09:36 | その上で、委託先の方が、もともとこの2021年度の中、  |
| 1:09:42 | 業務の中で一度作った図面ではあるんですけども、少しQ = 100であったり12.5であったりといったところの、データが少し、いろいろな検討をやっていたところでございますので、                        |
| 1:09:56 | 改めて、2020年度の報告書を作成した時のファイル、そちらを参照しに行った方が間違いないんじゃないかというところで、さかのぼった際に、  |
| 1:10:07 | データを取り間違えたといったところになっております。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:10:15 | ちょっと待ってくださいね。そうするとちょっとまた再もともとは2020年度2021年3月23日でしたよね。委託先から報告書を受領していて、                           |
| 1:10:27 | 確かにその時の前回の面談資料だと、地震動評価モデル。   |
| 1:10:33 | とだけ書いてあってこれは $Q = 12.5$ なのかな。  |
| 1:10:37 | 観測時、同ページという形では線形軸のものがあって、  |
| 1:10:41 | この   |
| 1:10:43 | 2020年度の時には $Q = 12.5$ の、   |
| 1:10:48 | データしかデータが、   |
| 1:10:51 | 報告書ではないんで確かにここで900にどうやって取り違えたのかなと思うとすると、2021年度に入ってから、この委託先は本社の指示なのか、委託先の中での検討なのか。              |
| 1:11:04 | ちょっとこのデータフォルダーとかですね参照したフォルダっていうのはだから2020年度の委託事業でやられたときの解析、結果                                   |
| 1:11:16 | 解析の条件、結果なりのものや、それ以降に、この委託成果報告書を作って以降にやったようなものも、このもとの、  |
| 1:11:25 | データ参照元にはあるっちゃうことなんですかねその辺の関係がいまいちこ見てってこないんですよ。   |
| 1:11:31 | 2020と御社ですかあと途中で見たのが、一度ヒアリング資料に出したのでその、   |
| 1:11:40 | ヒアリング資料の図を、  |
| 1:11:42 | 線形を対数に変えてくれっていうと向こうに示したのは、2021年度のこの報告書の第何ページのここを直してくれというふうに言ったのか、いや、規制庁に出したヒアリング資料の何ページ目のこの図を、 |
| 1:11:55 | 変えてくれと言ったのか、それは何か今の途中の説明だと、後者の発注をしたようにも聞こえたんですけど、この報告書の方を指し示して依頼したのか。                          |
| 1:12:06 | ヒアリング資料の、このページを示してって言ったのか。   |
| 1:12:10 | そこら辺が何かだんだんわからなくなってきたんですけど。  |
| 1:12:16 | 九州電力の井藤です。説明がわかりづらくて申し訳ございません。江藤。我々として指示を出したときはAとし、鈴木さんがおっしゃった通り、後者の方、                         |
| 1:12:26 | ヒアリング資料を添付しヒアリング資料のところの図面のところの箇所を添付させて、添付した上で、委託先にメールで指示を出してございます。                             |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:12:43 | はい。ちょっと待ってくださいねそうすると 12 ページのところの当社側のところは、報告書の 9 以降の順位での伝達関数の図面についてと言っているものの、                                       |
| 1:12:54 | その報告書のページというよりはヒアリング資料、  |
| 1:12:58 | この報告書の Q = 12.5 の伝達関数の図面を元に作ったヒアリング資料ですね。  |
| 1:13:05 | はい。  |
| 1:13:08 | 九州電力の伊藤です。はい。そうなります。資料の書き方が不足しており申し訳ございません。  |
| 1:13:19 | それを受けた向こうの承認者は、当然そういうことながら、いやこの資料の線形を体制に変えてくれと、委託元の九州電力依頼があったんだと。  |
| 1:13:31 | ここ担当者には作業を落とすわけですよ。  |
| 1:13:35 | ちょっとその担当者が、なぜわざわざ元データの方に行くのかなというのが疑問だったわけで、もともと委託生の報告書の該当してる図面があるんだしたら、  |
| 1:13:48 | 別にそのファイルもあるんだしたらですね、わざわざ元にたどった方が探すの大変でしょうと思ったんですけど、かなり数があったから、もともとの方に辿った方が作業効率的にいいのかなと思っていたんですけど、あえてそこ混同避けることができと。 |
| 1:14:03 | いう理由だったんで、そこら辺が何なのかなと思ってたんですけど、そうすると、  |
| 1:14:10 | それからこの委託先と御社との関係でいうと 2020 年度のこの報告書以降も、多分当然ながら、いろいろと審査を受けていくわけですからプレスト的に、こんな場合こんな場合とかいろいろやるわけですよ。                   |
| 1:14:23 | そういう追加解析的なものもやられているので、そうすると一番間違いないのは、生の元の方に行った方がよかろうとこの方が判断されたと。   |
| 1:14:36 | ということですね。  |
| 1:14:37 | そうすると、やっぱりこの委託成果報告書を作ったときの、その時点のデータは報告書と対になって例えば報告書は紙で出てきて、  |
| 1:14:47 | そのときに使った何かデータセットみたいなものが例えば DVD なりハードディスクなりで、御社に提出されてとかっていうそういう関係性ではなくって、   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 1:14:57 | あくまでこのデータみたいなもの、データ自体はですね、報告書御社に行くと、当然そのながら、審査資料に貼れるように画像みたいなものを御社に行くと。                                    |
| 1:15:06 | だけれどもこのデータそのものというのは、これは委託先はずっと管理させるというようなそういう契約、   |
| 1:15:13 | 具体的にねそこの担当の方は、当然その委託成果報告書を作った時のものもそうだしそれ以降に追加でやったようなものも、どこかで多分一体性管理されていたと。                                 |
| 1:15:26 | そのようにすいません理解したんですけど。従って、いろんな年度ある時に6年度作業して解析したのも、多分体系的にどこかに入っていて、   |
| 1:15:36 | そこから取り出すときに間違えたと。  |
| 1:15:39 | いうことかなあとすいません今のお話をお聞きしてですね、理解したんですけど、そうであってますかね。   |
| 1:15:45 | あくまでデータはその委託先が管理持っていて、別に御社に全く同じものが提出されていて、御社の汚泥た同じようなデータソースを持っていますね。                                       |
| 1:15:55 | という関係ではないんですかね。  |
| 1:16:00 | 一種電力の徳永です。今、鈴木さんがおっしゃられた通り、当社につきまちは報告書紙ベースのものとその報告書のなるPDFみたいなものの神野で、データに出荷したようなものはこちらの方にはございますけれどもそのもととなる。 |
| 1:16:15 | デジタル値であったりそういったものは、我々も所持してございませんで基本そういう管理は委託先の方をお願いをしているというものでございます。                                       |
| 1:16:26 | 一応そのデータの管理もその委託の中身に入っている。  |
| 1:16:32 | わけですかね。  |
| 1:16:34 | それとも、その委託先が独自に管理している、どちらですか。   |
| 1:16:43 | 九州電力の伊藤です。データの管理についても委託の中でですね成果物を出していただいておりますので、そのファイル管理といったところは委託先の方、                                     |
| 1:16:55 | が、にやっただいております。当然ながらその法制化報告を出してしまえば、その時点で一応その契約終わる、終わるというか  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:17:08 | 成果物を出せば終わりだと思うんですけどとはいえ、当然ながら発電所がある限りというか、当然基準が変わったりまた新知見が出れば、同じような検討することになるんで、その一旦委託で報告成果は出すんだけど、その |
| 1:17:22 | 元のデータの管理っていうのは翌年度以降も継続して管理してねという、そういう、   |
| 1:17:28 | 扱いなんですかね。  |
| 1:17:31 | はい。九州電力濱田でございます。   |
| 1:17:33 | 相田君のものによりますけれども、このような解析の業務だとか、いうようなデータをですね   |
| 1:17:38 | 必要な年は、保存期限を定めてですね、要求するように最初の委託の要求段階でお願いしているという状況です。以上です。   |
| 1:17:49 | はい、ありがとうございます。   |
| 1:17:52 | はい。  |
| 1:17:54 | そうですね。その同じ13ページのところ言うと、思い込みの話は、取り違えましたを見込みましたっていうのは実際そうなんでしょうけれども、                                   |
| 1:18:09 | 作業ですよ実際に、この承認者の方は下に出す時に、当然その系の作業であれば、当然事前に何か作業を、   |
| 1:18:19 | こういう作業、作業計画だったり、その作業方法だったり指示するか或いは計画を立てると、それを承認して作業するっていうのはあるんでしょうけど、                                |
| 1:18:30 | ここの今回のような作業の場合はあえてその指示するまでもなくといって、いや、日常的に、もう下にどんどんこう落として、丸投げしてるような承認者だったのか。                          |
| 1:18:42 | いや普段は、そういう計画を立ててやるんだけど今回のこういうケースみたいに、単に図を書き、一旦もうでき上がってるものを書き換えるだけだったならば、そこの方法自体は、                    |
| 1:18:53 | この担当者の方にお任せしますよと。  |
| 1:18:56 | 要はその元にたどってやるとは思わなかったってことなのか。   |
| 1:19:01 | そこら辺ってどうなんですかね一応今回、今回のような作業の手順をやって云々っていう話は、是正措置の方では少し出てきてたんですけど、                                     |
| 1:19:12 | そもそもそういうのって普通にやってないんですかという、  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:19:15 | そういうのが素朴な疑問だで、当然やってるんだけど今回のこのような作業までは、そういう計画を作ったり手順を作ったりは、やらせてなかったって今後やりますっていうそういうことですかね。                |
| 1:19:30 | 九州電力のトクナガですまず承認者につきましては今回、字句の変更を耐専掲示から体制事項に変更ということで、軽微な修正、編集作業ということで、                                    |
| 1:19:42 | 細かいその指示内容文章化して渡して出すというよりは、もう口頭で終わらせて、簡単にできるだろうと思いついて、指示を出されていると、いうふうに聞いてございます。                           |
| 1:19:54 | で、先ほど再発防止のところも少し鈴木さんの方にお話をいただきましたけれども、今後その再発防止につきましては図面の編集を行う際には、指示書を発行いたしまして目的や条件、                      |
| 1:20:07 | 等をしっかりと見えて見える形でお話を、伝達とともにそれを提示して、わかるように、仮にその作業内容がそれと違うようなものを、担当者の方がされる場合にはコミュニケーションを図ると。                 |
| 1:20:21 | いうことをやっていくというお話の是正措置を考えているというものでございます。以上でございます。  |
| 1:20:30 | はい、ありがとうございます。   |
| 1:20:32 | 翻って御社が10の応募14ページですね。   |
| 1:20:36 | これは、まとめ設計時から体制的に変更してねという話だったので、  |
| 1:20:44 | そのまま岩野吉田に作業してくるんでしょうということで、チェックとしてもですね、  |
| 1:20:51 | きちんとそのオーダー通りの字句の変更は、地区の変更というのをしますかしてませんかしてます0と、今チェックにとどまっていたと。   |
| 1:21:01 | 何であまりこの委託先の方で実は  |
| 1:21:05 | 当該年度の委託元となったその委託成果の報告書ではなくて、実はそれ以降にあった、検討結果も入ってるような、いわゆるフォルダデータにさかのぼってやるとは思ってなかったからこういう作業でしたということなんですけど、 |
| 1:21:21 | 先ほどの解析のデータの管理ですね、当然ながら一定期間は保持してもらおうと。  |
| 1:21:28 | ということだったんですけど、保護者としては、当然、2020年度の委託成果報告書のその時のデータはちゃんと管理してもらいます。それ以降も、                                     |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:21:40 | オーダーに応じていろんなパターンの解析も翌年度以降もさせるわけですが、この方取り違えたということは、  |
| 1:21:48 | そんなところが、  |
| 1:21:50 | どういう管理の仕方をしてたのかなあというのがあっていや、これ。   |
| 1:21:56 | データ。  |
| 1:21:58 | 参照したフォルダーにQ = 100年Q = 12. のデータが保存存在することを失念したので、フォルダーの管理の仕方として、データの管理の仕方としてはあまりその委託成果報告書や、               |
| 1:22:10 | いつ給電から依頼されていつ出提出したかということ、   |
| 1:22:14 | ではなく、   |
| 1:22:15 | いつ解析したかとか1年ババなんかは関係なく多分同じフォルダに、   |
| 1:22:21 | 入っているように見えるんですけど、そこらあたりのそのデータの管理をしてねという以上に  |
| 1:22:30 | どういうデータの管理をしろだとか、   |
| 1:22:33 | 或いはそのどういうデータの管理をしている。   |
| 1:22:36 | かな、こういう作業発注をした方すればミスがないだろうとか、   |
| 1:22:41 | そこら辺はどの程度把握したり関与したりしてるんですかね。  |
| 1:22:47 | 複数年度のもものが混在してたわけですよこれを見る限りですよ、抽出した原因見る限り、   |
| 1:22:56 | 九州電力の徳永です。委託先のデータの管理の方法等につきまして我々からこういう形でやりなさいとかそういった指示は出したりはしていないというのが現状でございます。                         |
| 1:23:12 | 九州電力浜田でございます。少し補足させていただきますと、こちら元のデータというのが解析業務。  |
| 1:23:19 | になりますね。解析業務という、の場合はですね、そのデータの識別であったりとか、その変更管理、あと、ファイル名が変更になって後で追えなくなったりとかないようにしっかりとファイル名を管理しなさいですとかですね、 |
| 1:23:34 | データの取り違いが無いというように管理しなさいという要求は、してございます。  |
| 1:23:39 | その前提に立っておりますので、我々としてはこの確定した図面を変更してくださいという時に例えば元データに行ったとしても、   |
| 1:23:49 | そのデータはしっかりと識別していると、こちらはそういう報告を受けてますので、あそこ違うことはないだろうと。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:23:57 | いうふうな前提で我々は思っていたというのが、   |
| 1:24:01 | 辞退の状況でございます。   |
| 1:24:11 | うん。  |
| 1:24:12 | なるほど。  |
| 1:24:14 | へえ。  |
| 1:24:31 | はいちょっとすいません。そしたら、  |
| 1:24:35 | そうですね。ホンゴウ。  |
| 1:24:41 | 14 ページのところは先ほどすいません承認者とチェック者の役割は確認したつもりなので、  |
| 1:24:49 | チェック者の方はそもそも作成者と同じ線でのチェックなんで、同じように漏れてました。承認者の方はプロセス的なところを見て、指示、  |
| 1:25:02 | 足りなければ、新、作成者のセルフチェックだったりダブルチェックする者に、こういうチェックしたのかというのを指示を出すべきだったんだけど、視点が抜けてましたねと。                               |
| 1:25:14 | それはここに書いてある通りかなと思いますので、  |
| 1:25:18 | 次にですねナンバーツーの方にも少し入ると思うんですけど、   |
| 1:25:26 | 類似事象で来類似事象の有無の確認。  |
| 1:25:32 | ちょっとまたさっきの話でも、   |
| 1:25:36 | それはだから一応終わっているんですよ、もう 1 個の是正措置の方の水平展開の方はまだ確認中ということなんで、   |
| 1:25:44 | この、一応難波津野地所気づいたのが 2 月 28 日ということで、  |
| 1:25:51 | 類似、これと同じような類似事象の有無の確認、これって何日に完了したんでしたっけ。   |
| 1:26:17 | なんで、このナンバーツーの事象に気づいたのは 2 月 28 日ですって少なくともその日以降ですよ。はい。   |
| 1:26:29 | その日以降だっておそらくこれ、スクリーニング C A P 会議も、状態報告 3 月 1 日でスクリーニング C A P 会議にこれも何回かけたのかわかんないですもしかしたら 3 月 3 日の同じ日なのかもしれないですし、 |
| 1:26:44 | そうするとこの類似事象の確認ってのは何日に終わったのかなというそれだけなんですけど、ここは、   |
| 1:26:52 | 九州電力のトクナガですすみません類似事象の確認の方につきましては、ちょっとすいません、今手元に確認、いつ終わったかというちょっと確認はちょっと今、                                      |
| 1:27:02 | ごさいませのでまた改めてご連絡差し上げたいと思います。  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:27:13 | そうそうすみませんちょっと趣旨を補足してもらいましたが、そのをさ、同じ3月ナンバーワン辞書と同じ3月3日なのかもしれないんですけど、                               |
| 1:27:24 | 別々の日にCAP会議やることもなかろうですか。  |
| 1:27:28 | それまでにはだからリリースの確認終わっていて、従ってこの3月3日にその2件合わせてですね。  |
| 1:27:35 | いわゆる是正措置計画だったりそういうのを審議したと。   |
| 1:27:40 | そういう理解はそこは間違っていないですかね。   |
| 1:27:45 | はい。九州電力の伊藤です。はいそこは間違っような、3月3日までの間には完了を終えているんですけどもちょっと詳細な日付については、また確認をさせていただきます。                  |
| 1:27:56 | すみません時系列流れさえわかれば、別に改めてそれだけご連絡いただく必要はないですはい。ありがとうございます。   |
| 1:28:03 | はい。  |
| 1:28:04 | この2件をまとめて3月3日ということで、この件がどうだったかってのは17ページで、  |
| 1:28:15 | そう、ここで言っているその委託先っていうのは、これ、この件だとなんか2013年頃の当時のその委託。  |
| 1:28:25 | 許可時いわゆる新規制基準適合の本体の方の審査した時のものが大元ですよ。そのときと当時と、   |
| 1:28:33 | 同じ玄海の同じ委託先で、かつ、およそこの担当されてる方っていうんですかね、当時何か二段階その途中で再あの検討段階のものがあつたみたいな話もあつたんで、                      |
| 1:28:46 | それは当間当時同じ方なんですかそれをもう、そこはさすがに古井担当と今野担当が違うとか、  |
| 1:28:53 | そこら辺って   |
| 1:28:56 | 九州電力の徳永です。まず委託先については同一のナンバー1とナンバー2は同一の会社でございます。担当者につきましては、これ10年前の業後2013年というのは、仕事なんですけどもその時はまだたい。 |
| 1:29:12 | 担当されてなかった。2015年あたりぐらいから、はい。今、この業務に携わられてきているというふう聞いてございます。  |
| 1:29:23 | 以上でございます。はい、わかりました。  |
| 1:29:27 | こちらの方は割と古本の資料は少し古い。いいですね解析結果の話として、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:29:39 | 見ていくとですね、委託成果報告書の許可で掲載。  |
| 1:29:46 | これもなんで委託報告書のこのこと言ってるのか、やっぱり許可で 402 回の会合資料を送ったのか、402 回の会合資料を再掲して、                       |
| 1:29:58 | いる、あるヒアリング資料のものを何か送ったのか、ここも正確には、どう、どうなるんですかね向こうにどういうものを、                               |
| 1:30:07 | どういうものを送って依頼をしたのかっていうことなんですけど。   |
| 1:30:10 | 九州電力の伊藤です。こちらにつきましても、まずメールで依頼をしているというところと、添付 2 へと資料掲載、つけた上で送っているんですけども、その際に添付したものとしては、 |
| 1:30:24 | 402 回会合資料を再掲した市政ヒアリング資料を送付してそこについての字句の変更と、Q = 100 の理論伝達関数を削除するようにと。                    |
| 1:30:36 | 言ったところで依頼をしてございます。   |
| 1:30:43 | はい、わかりました。   |
| 1:30:46 | はい。承認者はということでもた続くわけですね。  |
| 1:30:53 | 依頼内容を線形自体水陸の話と不要な教育 100 のものを削除するようにと。  |
| 1:31:02 | 先ほどと、やっぱり担当して今回担当されされた方は、何で 2013 年の当時に、  |
| 1:31:09 | いらっしゃらなかったわけですよ。   |
| 1:31:17 | この下たさっきの方の件もそうなんですけどを元にたどった方が間違いがないと。  |
| 1:31:23 | 他のは御社が別にヒアリング委託成果報告書を指し示してさえもらえればわざわざ元にたどらなくても、  |
| 1:31:33 | それならばと言って気づくのか、いやヒアリング資料さ示されて対応に遅れると、このヒアリング資料って元をどうたどっていったらいいんだという、                   |
| 1:31:43 | それぐらいだったらもう元のデータフォルダにさかのぼって 1 から作った早いじゃないかなのか。   |
| 1:31:49 | この辺で、あまりその向こうの担当の方のご認識っていうのはそこまで正確には、  |
| 1:31:55 | 聞きおいたりはできてないですかね。  |
| 1:31:58 | ちょっと両方とも、何ていうか、その委託成果報告書のこの図をって言われれば当然その図を作ったのはご本人なんで、ご本人なり、当時のシェアの委託先なんで、             |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:32:09 | であれば、じゃあ、  |
| 1:32:12 | わざわざもとにたどれなくても、何かヒアリング資料とかで出してみると、このヒアリング資料のこのページの図って、どこだったっけ。                                     |
| 1:32:21 | 個別にヒアリング資料作られた御社なわけですから、   |
| 1:32:25 | そうすると、よくわからないから元にたどった方が早いかというふうに思われたのか、そこら辺が今何かヒアリング資料を示しながらとおっしゃってたんで、ふと気になったんですけど、特段なにか。         |
| 1:32:39 | 今、馬渡私今想像で申し上げただけなので、特にそういった話を担当者から上がってきているというか、聞いている中で出ていってる。                                      |
| 1:32:49 | そういう話はないですかね。  |
| 1:32:53 | 九州電力の伊東です。こちらのナンバーツーにつきましては、当資料自体が、もともと再稼働審査時点の資料を再掲しているものでございますので、                                |
| 1:33:04 | 直近の 2021 年度とかの業務で江藤委託先が削除しているというわけではないのですね、こちらについては、2013 年度の方の、                                    |
| 1:33:15 | たのを補ファイルを参照しにくいしかないというところで参照してございます。わかりましたこちらはナンバーワンとは違ってそもそも作業の仕方として、                             |
| 1:33:28 | 大本にさかのぼるしかないっっちゃうわけですね。はい。   |
| 1:33:32 | わかりました。じゃあ、そこは主、その認識そごはなかったと。  |
| 1:33:37 | で、   |
| 1:33:38 | それが委託先の問題点のところは 18 ページのところに出ていってなぜ取り違えたのかとって、  |
| 1:33:46 | ここなんですけどね左側の、  |
| 1:33:50 | 色彩を見ると、  |
| 1:33:52 | 日本 2013 年度、この方は当時はこの会社におられませんでしたと。だけれども、当然どの電路のどこのファイルを探せばいいかっていうのはそれはわかったと理解しているので、探しに行って作業しましたと。 |
| 1:34:09 | その時に、一応どういう形で経緯残されたのかあれですけど、   |
| 1:34:16 | この 9 月 9 日バージョンと、  |
| 1:34:19 | 10 月 2 日バージョンが、これちょっと左の問題点の方の鍵括弧囲みを見ると、許可に掲載した図面はとって、  |
| 1:34:31 | 9 月 9 日に作成されたデータ理論伝達関数と、10、10 月 2 日に作成された、同定結果の混在していたかと。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 1:34:42 | 右の記載を見ると、当該図ね過去にどちらも9月2日に作成された後に、10月2日に同定結果の変更をしていたということなんで、                               |
| 1:34:54 | 理論伝達関数の解析結果データは9月9日に作成された。   |
| 1:35:00 | もので、一つで同定結果の方は9月9日のものと10月2日のものが、あるんで二つ存在しますと。  |
| 1:35:13 | これはちょっとここも、  |
| 1:35:16 | 何ていうか10月2日、最後これもほぼどういう形で、それぞれ管理されてたのかにもよるんですけど、  |
| 1:35:27 | 何とか最終結果みたいなものがいわゆる9月2日、9日の理論伝達関数と10月2日のこの贈呈結果のものが、最終、最終結果はこれですという形で、何かそう体系的に管理されてたのか。      |
| 1:35:41 | の理論伝達関数は理論伝達関数とか同定結果同定結果とかっていろいろなパターンで管理されていたのか。   |
| 1:35:48 | この辺もちょっとどういう管理の仕方を取り違えたのかな、ちょっといまいち判然としないんですけど。  |
| 1:35:56 | 当然ながら  |
| 1:35:58 | いろんなバージョンがあるのかもしれないんですけど、何か最終バージョンにさえ辿りつけばいいんじゃないかという気もしつつですね。                             |
| 1:36:12 | 州電力のトクナガです委託先につきましては最初、検討経緯を整理されていたところを左ちょっと書いてはいるんですけども、きちんとこちら辺に保存されたデータはこういう形でこういう検討して、 |
| 1:36:27 | きて、作られたものだという経緯は整理されてございます。この件、経緯をきちんと読み込んだ上で作業をすれば、10月2日の同定結果を参照に行けるというところだったんですけども、      |
| 1:36:41 | 担当者の方がここを十分に理解されていなかったと。で、   |
| 1:36:46 | 実際にその9月9日では理論伝達関数の分については、江藤清川の分の実施していたということでそこを、   |
| 1:36:55 | そのデータが結局はその担当者の方は、既許可の、掲載した図面だというふうに思い込んでしまって、それそこにあった同定結果を取り取り違えた、というようなものと聞いてございます。      |
| 1:37:12 | はい。  |
| 1:37:13 | 明確に向こうの承認者の方が担当の方にいや当時いろいろと検討した話だから、ちゃんと検討経緯もきちんと読んでから作業してねというふうに言ったのか言ってないのか、あるんですけど、     |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:37:26 | きちんとそれ読めば、正しいファイルにどう見てもたどり着ける。  |
| 1:37:31 | であろうというのは、そこは本社の当時の、これを施工検討経緯っていうのは御社が把握してる検討聞いてるも御社に   |
| 1:37:41 | 作業物を納品する委託先の内部の検討経緯であって、どうもこの先見ていくと御社が実はそういう検討経緯があったというところまでは御社の中の方では、                              |
| 1:37:54 | もしかしてと当時そういうことをさせていたという記憶がある方はいるのかもしれないですけど、この検討経緯っていうのはあくまで委託先の中での検討経緯で、御社の検討経緯はないんですかねこれ。         |
| 1:38:08 | 九州電力の徳永です。鈴木さんのご指摘の通り、委託先の中のAの内部資料の検討経緯ということで、当社の方にそういったものがあったというわけではございません。                        |
| 1:38:19 | 九州電力濱田です。ちょっと1点補足させていただきます。   |
| 1:38:24 | 弊社の方では委託要求解析の委託要求ではデータの管理もしっかりと要求しているというのを先ほど申し上げた通りでございます。ですので今回出てきた図面いらしたを出した図面が、                 |
| 1:38:35 | 10月9日のデータと10月2日のデータから構成されているという事実は、   |
| 1:38:43 | 委託、機械、委託報告書ですけどもその中にこの詰めはこのデータとこのデータから出てますという報告は受けてますので当社はそのデータを使うだろうというふうには考えていたという状態です。わかりました。はい。 |
| 1:38:56 | どういう形過程で、2回作ったとかそれでそれが、この解析結果ここに入っているこの解析がここに入ってるっていうのは、それは委託先が経営を認めて管理すること自体が委託先の委託の内容なんでしょうから、    |
| 1:39:11 | あそこはさっき委託先の方でより詳細なものは持っていたであろうと。  |
| 1:39:17 | はい。戦力ハマダでその通りでございます。  |
| 1:39:20 | なるほど。はい。  |
| 1:39:22 | ちょっとそこら辺なんか担当者の方にどういう明確な指示で出したのか、ちょっとそこら辺はちょっとここの記載だとですね、   |
| 1:39:33 | 少なくとも承認者の方は当然経緯も残してたんでであろうから、さすがにその経緯を見てくれるだろうと思っていたのか、いやきちんとそういう、                                  |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:39:44 | 経緯がある話なんだから、ちゃんとそれはしかもその方が入る前ですよ<br>ね。   |
| 1:39:50 | 谷津尾本、当時の宇井通りの解析をもとに、改めて作業してもらわ<br>けですよ。今回のナンバーツィーの場合は元のデータにさかのぼらな<br>いと、図面つukれないわけですから、            |
| 1:40:02 | そこら辺はきちんとした指示はされてたんですかねこれ見る限り、   |
| 1:40:09 | 何か指示はあまりい、これ線形体制にしといてねあの辺にフォルダある<br>からぐらいの、そう指示のようにしか見えなくてですね。                                     |
| 1:40:18 | 下端分にこれなんか担当者の方がきちんとその当時の経緯、  |
| 1:40:22 | 伊井の資料をきちんと読まなかったからいけないんですなのか、いやそ<br>もそもそういうところをこの担当者の方に、認識させるような行為を<br>です、ちゃんとしていたのかってというのが、       |
| 1:40:34 | うん。そこら辺の怠っていたのかっていうのもよくわからないんですけ<br>ど。   |
| 1:40:40 | 九州電力の徳永です。18 ページの原因②の②のところに少し書かせて<br>いただいているんですけども、  |
| 1:40:48 | ファイル管理や過去の検討経緯が社内が存在するということから、承認<br>者は概要説明この時期の変更をやってくれという簡単な説明で十分理解<br>できると思い込んで、詳細な情報伝達は行わなかったと。 |
| 1:41:03 | ということでございます。   |
| 1:41:07 | はい。なのでですね、そういうものが存在するというのは、承認者も知<br>っているでしょうし、自分が入社する以前の請負った業務でですね、                                |
| 1:41:17 | どういう作業過程を経たかっていうのはそれは担当が勝手に引き継げる<br>ようにそういう文書があるんだってというのは、これ新しく入って今の担<br>当者の方も認識してるんだとは思いますが、      |
| 1:41:29 | いや実はここら辺って当時の時には何回も解析したりする経緯があるん<br>だから、読んだよねという、そこまでをお伝えしてたのか。                                    |
| 1:41:39 | そうじゃなくて当然経緯は読んでから作業するだろうと思ってそこら辺<br>部隊までは承認者から担当者には伝えていなかったのか。                                     |
| 1:41:49 | そこなんですけどね。   |
| 1:41:51 | 九州電力の徳永です。基本的には黄砂基本、読んでくれるだろうとい<br>うことで明確な制度はなかったというふうに聞いてございます。                                   |
| 1:42:00 | はい、わかりました。それは別に存在することから理解できると思い五<br>味はい。そういうことですね。はい。ちょっといいですか。                                    |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:42:10 | コミュニケーション不足に対しては、ここは思い込みが介在してるっていうのは理解できるんですけど。                               |
| 1:42:16 | 原因の①事象、0事象1に両方とも原因①のところに、   |
| 1:42:22 | 思い込みによるデータ探し元の誤りって書いてあんだけどこれって、   |
| 1:42:27 | おかしくないですか。  |
| 1:42:28 | 思い込みじゃないですよこれ。  |
| 1:42:31 | 把握してないんでしょう。  |
| 1:42:34 | 把握していないとか、認識していない外への、   |
| 1:42:40 | 参照元の誤りなんてこれ、情報共有も含めた管理の問題ですよ。   |
| 1:42:45 | 思い込みによるってこれ、すごく、  |
| 1:42:48 | 都合がいい言葉使ってるけど、  |
| 1:42:50 | これ全然でたらめですよ、言い方が。   |
| 1:42:56 | ここら辺ちょっと。   |
| 1:42:59 | 大分、   |
| 1:43:01 | 気になります。   |
| 1:43:03 | ちょっと1点だけ。   |
| 1:43:04 | 聞かしてください  |
| 1:43:07 | 先ほど、  |
| 1:43:08 | 川内と玄海、これ委託先違うって言ったじゃないですか。  |
| 1:43:14 | で、おそらく川内は、今んところ見つかってないわけですよ。  |
| 1:43:18 | で、  |
| 1:43:20 | なぜそう川内で、  |
| 1:43:22 | その委託先が見つかったんでは間違いが見つかっていなくて、玄海の委託先で見つかったとしたら、その差分って一体何ですか。                    |
| 1:43:32 | その差分と対策って整合してます。  |
| 1:43:38 | それは確認してますか。   |
| 1:43:50 | 九州電力のイマバヤシです。今、永沢さんの方からお話ありました。今回は玄海で誤りを見つけておりまして川内では見つかっていないというのが事実です。       |
| 1:44:01 | で、原価につきましてはこれ今この形で整理してましてで、川内の方の委託先に対して、実際どのようなやり方してるのかっていうこともちょっと聞き取りを行いました。 |
| 1:44:13 | その際に、基本的に   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:44:17 | 当社の今回のナンバー1のような事象、データを本来読み、読みにくいようなケース読みに行くべきところを、元のデータにさかのぼるような、  |
| 1:44:29 | 係数、こちらにつきましては基本そういうことはせずに、やはり本来あるべきデータのところを探しに行つて、   |
| 1:44:39 | 同じような返事の編集作業をやるというのが、  |
| 1:44:44 | こちら今度ナンバー2の方なんですけども、ナンバー2は、これはもう一つ川内の方の委託先につきましてもやはりもう、新規性基準審査の時にまたさかのぼってデータを見ないといけないというのはやっぱり同じ、                  |
| 1:44:57 | ですのでやっぱりさかのぼったデータを見にいかないといけないんですけども、そこで、そういう、さかのぼったデータを見に行くときには、やはりそのデータが、これでいいかどうかというのを確認するという作業をやってやっていた、やっていると。 |
| 1:45:11 | その上で図の修正作業をやっていると、いうことを聞いております。従いまして、今回のその玄海の委託先、  |
| 1:45:21 | ちょっと違う委託先の方ほうは、  |
| 1:45:25 | 担当者がこれでいいんじゃないかという判断を進めていったってところがございますけども、一方の川内の方は、そのデータをさかのぼって確認する際には、  |
| 1:45:37 | 普通のものでちゃんと確認した上で作業をやってるところ、そこが違うところだというふうに聞いてございます。すみません九州電力の明石でございまして。ちょっと補足、補足というか、                              |
| 1:45:48 | 先ほどの名倉さんからのご質問の趣旨を踏まえて、補足させていただきますと、今、川内の方の委託先でどういう管理をやり方をしてるのかわつていうのを今イマバヤシの方からお答えした通りなんですけど、                     |
| 1:46:01 | じゃ、それを踏まえて、管理の仕方として、川内の方と玄海の方とどうなのつていう差分比較のようなところまでまだちょっと整理をしてないというのがすみませんそれ、正直な実態でございまして。                         |
| 1:46:15 | それを踏まえると、宇佐さらに先伊達ナグラさんからご指摘あった通り、18ページ思い込みと書いてますけども、その思い込み、  |
| 1:46:26 | 思い込むというか勘違いするとかそういうことに至るようなやっぱりデータの管理の問題じゃないかと言われるば、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:46:33 | 確かにその通りだなというふうに思います。そこがまさに今、佐野千田との差分が整理、できてないというところも含めて、正直今ちょっとそこは詰めが甘いかなというふうには、         |
| 1:46:45 | 今考えております。以上です。規制庁名倉です。私聞きたかったのはあくまでも詰めのところまで含めた内容というよりも、                                  |
| 1:46:56 | 衛藤。   |
| 1:46:58 | 21 ページのところに書いてある、是正措置の①のところですけど、  |
| 1:47:04 | これって、   |
| 1:47:07 | やっぱり業者ごとの特徴って出ちゃうんですよどうしても。   |
| 1:47:11 | できてるところはある程度社内ルール化してできてるんですよこれ。   |
| 1:47:16 | 本当に軽微なものも含めて、解析と同じように手順をちゃんと上司と確認しながら、自分はこれ昔なかったから怖いから、ちょっと確認しながらやらせてください。                |
| 1:47:28 | そういうふうな体制がちゃんとできてるところは、もうそれをそういうふうにやってるんです間違わないように、                                       |
| 1:47:36 | おそらくそういうところに差が出ちゃっているから、21 ページのような対策、   |
| 1:47:41 | ていうものが今回、この玄海の業者に対しては必要になったん。   |
| 1:47:46 | じゃないかなと。  |
| 1:47:47 | そうすると、やっぱりその差分のところが、原因究明のところでもクローズアップされてないと、成功してないんじゃないかって、                               |
| 1:47:56 | 見えてしまうので、そういう意味で、ここら辺、全体を見渡したときに、実際の原因究明の内容と、是正措置っていうものが表裏 1 体というか、                       |
| 1:48:09 | ちゃんと整合しているということをちゃんと説明していただかないと、  |
| 1:48:13 | いけないんじゃないかなというふうにちょっと思っていたんで、そういう意味でちょっとお聞きしたんですけどここら辺はほぼ整合しているという、おそらくそういう、今、整合しているだろうと。 |
| 1:48:27 | いうふうな回答だったのでそこら辺を説明をちょっと強化していただければ、   |
| 1:48:31 | もう少し、   |
| 1:48:33 | 納得できるのかなというふうにちょっと思いました。  |
| 1:48:36 | 以上です。   |
| 1:48:44 | はい。変えました。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:48:49 | 続けてですね、次は当社の方の問題点ということで、   |
| 1:48:56 | ぞ作成した冊でした。   |
| 1:49:00 | 一応本社としてもですね、やっぱり今回もナンバーツーの方で持ってきたものは、当時その委託先の方でも何回かに断固、玄海の場合2回ですけどね、2回のその解析があってというのは、                |
| 1:49:14 | 一応何か把握してたわけですね、とはいえ作業としては、   |
| 1:49:19 | 字句の変更だからということでナンバーワンと同じようなチェックの仕方でしたというのとて、  |
| 1:49:25 | はい。ここはチェックという意味ではこうなのかもしれないんですけど、  |
| 1:49:31 | 次が改善措置活動の方で、ここがやっぱりその図面編集あった場合のとかですね。  |
| 1:49:41 | その先のチェック方法ですね図っていうところで、  |
| 1:49:46 | ちょっと先ほどの川内の方の会社である玄海の方の会社ですね、一応このデータの管理を任せているというところで、今回その一旦ものが出てきていてそれを再度、                           |
| 1:49:59 | 少し作図し直してくれ編集し直してくれという、その場合においてみたいな形で限ってるんですけど、   |
| 1:50:05 | ちょっとこのデータ管理まで先方に任せていってどういう管理の仕方をするか任意ですってなると、  |
| 1:50:11 | これも例えば、委託成果報告書自体だったりとか、別に今回のこの委託成果報告書に限らず、他にも改めてですね急にこういう解析してみてくださいと依頼したりする場合もあるでしょうけど、              |
| 1:50:25 | 何かそういう   |
| 1:50:27 | この範囲って本当にこの図面編集があった場合と、委託成果報告書から図面編集があった場合とかっていう。  |
| 1:50:35 | 何かそんなところに限られるのは何でなのかなというのはちょっと疑問なんですけど。  |
| 1:50:43 | もともとの委託成果報告とかはかくかくしかじかきちんと突き合わせをしていて、元の解析データとそぐわなくちゃんと報告が上がった報告書ができ上がっているというのは、それは当時確認できているんですとかですね。 |
| 1:50:58 | どこまでが担保とれていてどこまでどこからがあやしいので、こういう図面編集があった場合とかっていうふうになっているのかですね。                                       |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:51:07 | 少しその委託先の方で少しデータ管理だったり引き継ぎだったり、その辺があやしいそうだなというふうになると、他大丈夫っていうのがちょっと気になってくるんですけど。                    |
| 1:51:19 | はい。九州電力浜田でございます。今のご質問今回の事象、その原因に対する根本的なバリアというのは、何人、どう考えてるんですかという質問だご理解しました。その辺、趣旨で回答させていただきますけれども。 |
| 1:51:34 | まずそういう意味ですね、そもそも全体的なバリアとして我々が考えていますのは、二次、  |
| 1:51:39 | 右下 20 ページの是正処置の②番。   |
| 1:51:43 | 阿曾磯最終的なバリアになると考えてございますこれはもともと審査資料ですね、チェックするときには  |
| 1:51:52 | 今回の場合許認可ですけども許認可の文書の設計をするということでチェック体制をルール化してはありますがそれを踏まえた値、チェックをするというですねルールを定めてございます。              |
| 1:52:04 | ですので今回の審査会合資料も、技術的な観点とか、一般的な動きも含めた観点で、   |
| 1:52:11 | ダブルチェックをしているというのは、先ほどご説明した通りになります。ですが、   |
| 1:52:17 | いわゆるスパン管理、図上図面の編集上の修正を施すというような、  |
| 1:52:26 | ものがあつたときにですね、まさかその元データまでさかのぼってというような今回我々は思いもしなかったようなことが起こったということも踏まえまして、ここ、                        |
| 1:52:35 | そういう技術的な観点でチェックするときにはそういうこともあり得るんだという観点をですねそのチェックに追加すると。   |
| 1:52:42 | ということで既存のルールを強化するということをバリアーとして、農協と考えてございます。  |
| 1:52:49 | そして是正処置の①は何なんじゃないのかと。  |
| 1:52:53 | いう話ですけども、先ほど言ったの。  |
| 1:52:55 | いろんな検討段階で複数のデータが混在しているとか、というような複雑なデータの管理が多くある。   |
| 1:53:05 | ものっていうのは神田板井顧問、同建築の  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |  |
|---------|--|
| 1:53:08 | 地震動だったりとか、そういう特殊な業務になりますので、その分野に関してはその是正処置の①として計画するようなさらに上乗せした対策と、                                 |
| 1:53:19 | いうものを実施するという事を考えている。   |
| 1:53:22 | その上で、それらをちゃんと認識できるように是正処置の③である教育をして皆で認識を高めましょうと。そのような三本立てで考えているというのが、弊社側の是正処置になります。以上です。           |
| 1:53:38 | はい。行っても、あくまで最終防衛には是正措置2の方ということですね。   |
| 1:53:44 | ぜひ一つ②の方の見込みのポツですかね是技術的視点を有する当社社員が審査資料偽チェックに関する項目を具体化し、   |
| 1:53:55 | 当然、作成者も技術的視点を有してる商社のチェック者や承認者の技術的視点を有してるんだと思うんですけど、  |
| 1:54:03 | これは誰が誰向けに、これ技術的視点を有する当社社員がどうチェックすればいいのかを何かルール化するというよりもこの字づら見ると、                                    |
| 1:54:15 | 技術的視点を有する、御社の社員が、  |
| 1:54:19 | チップに対して項目だったルール、何でお香作ってそれをルールに反映して、それを誰、誰が見てもというと、ど素人が見てもって意味じゃないと思いますけど、                          |
| 1:54:32 | これ、ルールを作る、具体化する項目を具体化するのが技術的な視点を有する社員で、それがこのルールに従ってチェックするのは誰ですかというの、                               |
| 1:54:43 | 会津らからどう読み取ればいいでしょうかという質問。  |
| 1:54:49 | はい。九州電力濱田でございます。こちらの、ちょっと読みづらくて大変申しわけないところ、表現なっております   |
| 1:54:57 | 端的に申し上げますとそのもともと疑似的な力を有する社員が、チェックをするというルールになっていますので、その人がチェックをする時に使用するチェックの観点を強化しますと。               |
| 1:55:09 | というような趣旨。  |
| 1:55:11 | を記載してございます。  |
| 1:55:14 | 九州電力の明石でございます。ちょっと補足をさせていただきますとその技術的視点を有するというワーディングもちょっと、さんざん悩みながらちょっとはっきりした表現になってるところありますけどもここ一つ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:55:28 | ポイントとして、一番最初の発端として、誰が何で気づいたのかというところを踏まえたときに、土木建築の専門性を持つてるのはもちろん、やっぱり、                             |
| 1:55:40 | 審査の対応の中である特定のところだけじゃなくて幅広くこうピークを眺めたりということをする中やっぱそういう経験値を持って、気づく、ウーウーに至ったと。                        |
| 1:55:52 | いう背景がありますので、まさにそういう専門性、土木建築なりの専門性力を持つてることはもちろん、その審査経験の中で、そういう経験値を有する者、それがやっぱり、                    |
| 1:56:04 | こういう見方をしなきゃいけないんだよっていうルールを作らないと、もうもちろんこれ  |
| 1:56:10 | 例えば事務屋さんがやって、できるもんじゃないとは思うんですけども、もっと言うと、技術屋さんであれば誰でもできるというわけではない。やっぱりその土木建築の力量を持って活動の経験値を、        |
| 1:56:21 | 持つてるものがやっぱりこういう、こういう見方しなきゃいけないんだよだって、昔こういうことがあったんだからこういうところ注意しなきゃみたいなことが、                         |
| 1:56:30 | 理解してるものが定めなきゃいけないよねということで、すみません、そういうことを全部この技術的視点を有するというと、ところに込めてしまってますけども、意図としてはちょっとそういう意図でございます。 |
| 1:56:43 | 以上です。わかりました。技術的な側面とその経験値的な側面というのと、いわゆる品質担当とかその事務屋の方が作るルールでなくてっていうことですね。                           |
| 1:56:55 | 当然ながらそのルールに従ってチェックするのは一番者の体制上だと、セルフチェックもダブルチェックもその最初の承認も技術者が見るんでっていうことは言えていうことですね。はい。             |
| 1:57:05 | わかりました。で、最後の下が、その一つさんは他の会社でも聞きました教育だとかそんな話は出ているので、それはそれとして委託先との関係で、                               |
| 1:57:19 | この次のページに委託先の方でも是正措置計画を作って、それにとってそれを御社が確認をすると。   |
| 1:57:27 | 今後はその効果が発揮してるってことをもう、社内の是正措置の効果もそうだし、委託先の方の効果も確認するという、  |
| 1:57:36 | こと。   |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 1:57:37 | なんですけど、これって、やっぱりあくまで今回、あまりが  |
| 1:57:43 | あったところに関連する川内ではなく、玄海の方の委託先、  |
| 1:57:50 | に対して委託先の中でやらせてそれを確認するっていうことで閉じるやり方なんですかね。  |
| 1:58:00 | 例えばですよ、こういった今回の委託先にはこういうことをやらせませ   |
| 1:58:05 | 改善させます。  |
| 1:58:07 | やっぱり、川内の方の委託先と玄海の方の委託先で管理の仕方だとか、   |
| 1:58:18 | 明確な指示の出し方だとか作業の仕方に当然ばらつきはありますと。  |
| 1:58:30 | そういうものを少し解消させるために、今後の調達の時にとか今後の使用にあたって発注にあたってはとかですね、そういう観点で武藤新居込                                       |
| 1:58:41 | つ、   |
| 1:58:51 | レベルのですね何か改善みたいなようにはあまり読めなくて、これはあくまでその当該委託先においてこういうことがやられてることを確認すれば終わると。                                |
| 1:59:06 | 本社の中での方は、あまりその今後だったり、ああいう別の会社でも同じことがないようにみたいな、そういう意味で広く全体にわたっての、                                       |
| 1:59:18 | この改善という、   |
| 1:59:34 | 感じではなくってそこは資料チェックだとか、その最後の最終のチェックですよ出てきたもの、そういうところは個別の会社から出てきたようなものも、当然こういうチェックの仕方をするんですけど、            |
| 1:59:38 | 何かここの委託先っていうところを見ると、何か今回の起こした会社はこういうふうに改善されます。川内の方は、もともとやりましたと。  |
| 1:59:42 | でも他の会社だったり他にも今後発注することもあるかもしれませんがど一般的なその次、恒久的な何か発注の仕方だとかですね仕様調達とか、そちらの方に何かこういうものを反映するお考えがあるのかこれは見る限りだと。 |
| 1:59:53 | この当該委託先で、処理されればよいと。  |
|         | そういうように見えるんですけどどっちなのかなっていうのを、  |
|         | 確認させてください。これはあくまでどう、どういうふうに処理する方も是正措置の計画とかは、本社の中で承認されているでしょうから、  |
|         | はい、九州電力濱田でございます。   |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 1:59:56 | 今回ですね原因を調査しましたところ、我々としましては、調達管理そのものに何か不備があったと、というような便は特定されておりませんので、                 |
| 2:00:07 | 今回の今回のまず委託先というのは当該でしょうか。  |
| 2:00:12 | 発生した委託先に限ってございます。   |
| 2:00:15 | 基本的に委託調達する時に調達先の技術的能力の評価をした、供給能力の評価をした上でですね。  |
| 2:00:23 | 調達先選定してさらに  |
| 2:00:26 | 先方の品証体制ですとか、作業管理、   |
| 2:00:29 | の方法ですね、というも   |
| 2:00:31 | 提出してもらってこそそれをこちらが確認承認した上で、作業実施していただいておりますので、まずはその辺の内容に従って適切に実施されると。                 |
| 2:00:42 | というのがまず前提にございます。従ってですね  |
| 2:00:47 | 繰り返しますけど今回の事象が発生した委託先、  |
| 2:00:50 | に対してというのは、  |
| 2:00:51 | 9日現在の整理でございます。以上です。   |
| 2:00:59 | はい。わかりました。御社の今の考えはわかりました。   |
| 2:01:05 | そうすると最後は22ページが一番説明として一番最後ですね。   |
| 2:01:14 | 是正措置の必要性評価とかもこの辺はこれまでの説明の中でも、   |
| 2:01:20 | あった話なので、  |
| 2:01:22 | この是正措置の水平展開のところ類似事象の確認範囲で、それととは言えと言ってむしろ次の丸の方が、                                     |
| 2:01:35 | 最終的に間違いがなかったのかっていうのを最終的に担保できるのは、是正措置の水平展開の二つ目のマルだというようなお話途中だったんですけど、これが現在実施中、A1c中と。 |
| 2:01:47 | ということでこれが数日、数日とおっしゃいましたかね。  |
| 2:01:52 | ぐらいはかかるということですねはい。  |
| 2:01:57 | わかりました。   |
| 2:02:14 | はい。   |
| 2:02:16 | ちょっと待って。  |
| 2:02:17 | 変更でついている抜粋のところは特に   |
| 2:02:24 | 言うかな、ちょっと待ってくださいね。  |
| 2:02:28 | 1個目の事象は前回お話を、   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 2:02:32 | 面談でお話を聞いていますし、  |
| 2:02:37 | さあん。  |
| 2:02:40 | 11 ページの方も、  |
| 2:02:44 | ちょっとこれも少し混乱しないに確認しますと 31 ページのところの左側 1024 日審査会合資料 2 の、   |
| 2:02:52 | 2 の P 84。   |
| 2:02:55 | このページでは今赤枠で囲ってあるところも含めて多分、このページ全体、  |
| 2:03:02 | 402 回会合資料の、これ 44 ページだったかな。  |
| 2:03:06 | このページからそのまま、  |
| 2:03:09 | 切り貼りしてきていて、このページ自体は当然 402 回の会合資料を切りはそのまま持ってきてるんで、このページは、  |
| 2:03:19 | 合っていますと、その右側の 1026 回審査会合資料の P 80 こっちが間違っていますのでこれは 0102 とここ、今回便宜上 0102 と振ってますけど両方とも、                   |
| 2:03:34 | 3、上の方も間違っていましたねと。   |
| 2:03:40 | それがですね次の許可審査 G とかっていう形で、てはいますけど、  |
| 2:03:47 | 4 回を予定結果、はい。はい。   |
| 2:03:50 | それが間違っていた。  |
| 2:03:57 | 被許可審査時、   |
| 2:04:00 | そんな全部間違ってる。はい。  |
| 2:04:07 | わかりました。   |
| 2:04:08 | すみません一応これ事実関係としてすみません私担当なんで一通り確認しましたけど、多分一応その、  |
| 2:04:18 | 御社もその C A P の会議のところで一応これ、安全上安全審査に影響があるだとか或いは安全上関係してくるんだということで、  |
| 2:04:30 | 不適合或いは是正措置の石井ということで、一応そういう区分をされていてそれはそれなんですけど、  |
| 2:04:38 | あまり具体的にどういう観点震災の影響とかといっても多分ピンキリだったり、実際にこれまで審議した内容に戻りがあるんだとか或いはその再度説明しなきゃいけないのかとか、また妬まそこには影響しないんだけれども、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 2:04:54 | 今回たまたま間違っただけが、そうであっただけでは、他にも影響したかもしれない。実際に判断とかに影響したかもしれないとか、いろんな観点があると思うんですけど、 |
| 2:05:05 | ここで原子力安全に影響を及ぼす状態に分類したとか審査に影響を及ぼすと判断して不適合としましたとかっていう、                          |
| 2:05:13 | これちょっとどういう点からなのかなというのを、  |
| 2:05:21 | はい、九州電力濱田でございます。   |
| 2:05:24 | まず今回の不適合と判断したという根拠ですけどもまず我々がちゃんとした音を出すということのみずからのプロセスを追加して、作業しておりますので、         |
| 2:05:37 | その正しい部署をつくれなかったという点でまず不適合。   |
| 2:05:41 | 判断してございます。   |
| 2:05:43 | その不適合はじゃあどの程度の、同大きさの重要性がある不適合なのか、重大性があると。                                      |
| 2:05:49 | 適用なのかということですけども今回、審査会合の図面ということで、審査申請書そのものではなくてもですね、                            |
| 2:05:59 | その審査に対してですね判断を仰ぐ重要な書類ということで我々が今、   |
| 2:06:06 | 制裁いただいている設置許可の判断に大きく影響を与える可能性があるかと。  |
| 2:06:12 | ということですね、重要な事項であるということで、今後も同じようなミスが発生したらですねそれが申請書にはねるかもしれないとか、また審査会合で、         |
| 2:06:22 | 間違っただけを出してしまう。   |
| 2:06:26 | とかいう今後のミスの発展のリスクとか、その辺を考慮しまして、   |
| 2:06:32 | 重要な不適合と判断してございます。  |
| 2:06:35 | 以上になります。   |
| 2:06:39 | はい、わかりました。すいません私がほぼほぼ、すいません一通り全部担当なんでなめるように、すべて確認しましたけど、                       |
| 2:06:50 | 他何か確認、聞いておくという点ある方おられますでしょうか。  |
| 2:07:04 | 荒谷です。ちょっと確認させて欲しいんですけど、17 ページを例に確認すると、   |
| 2:07:11 | これって   |
| 2:07:14 | 図面の編集作業っていうことは、そのグラフを作ってもらおうような作業を、  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 2:07:21 | 依頼したってということでですね審査資料のこのページを作るとかじゃなくって、そこの部品を依頼したと。                            |
| 2:07:28 | はい。  |
| 2:07:29 | で、   |
| 2:07:30 | これ総合解析っていう話をされてましたけど、  |
| 2:07:35 | 毎回そういった  |
| 2:07:37 | 何て言うんすかね。例えば1年の契約とかをしてて、メールで、  |
| 2:07:42 | 市発注して、それを、   |
| 2:07:45 | その都度受け入れるような、  |
| 2:07:48 | 受入検査で受け入れるような感じ。   |
| 2:07:51 | をしているってことですね。  |
| 2:07:58 | 九州電力のイマバヤシですイマバヤシ説。  |
| 2:08:02 | そうですね。   |
| 2:08:04 | 今回の依頼につきましては、基本的に前、過年度の解析業務で実施した成果、  |
| 2:08:15 | それを図面として少しちょっとブラッシュ+ちゃってますとちょっと見た目を変えるっていうような作業ですので、                         |
| 2:08:26 | えっとね、依頼といたしましては確かに、これまでも説明しましたようにメールで依頼してそれを受領して、資料に反映する、資料把あくまでパーツとしてこの部分の、 |
| 2:08:39 | を編集してくださいという依頼をして、そのパーツを受け取って、当社の方で審査資料に反映していくというようなやり方をやっております。             |
| 2:08:49 | 以上です。  |
| 2:08:51 | はい、わかりました。   |
| 2:08:53 | 今回の時事象1も2も、これは単品で、ここの、   |
| 2:09:01 | 何ていうかここのデータだけを依頼する時には、言ったんですがそれとそれとも何かいくつか作業を依頼する中で同時にやってるようなものなんですか。        |
| 2:09:14 | 九州電力の井藤です。このナンバー1 ナンバー2 どちらにおいてもですね、単体での依頼ではなく、これ以外の検討であったり同じような策の修正、        |
| 2:09:26 | 等を含めて、複数の依頼を当日にかけている、かけております。  |
| 2:09:32 | はい。わかりました状況確認できました。  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 2:09:37 | 別にだからどうなどうだっていう話ではないんですけどちょっと状況だけを知っておきたくて、  |
| 2:09:43 | あとはですね、すみません 13 ページで原因になんですけども、  |
| 2:09:52 | これコミュニケーション不足って書き書いてるところ。  |
| 2:09:58 | これ作業方法をチェック者承認者と共有していなかったってことなんですけど、   |
| 2:10:05 | これもし共有していたら、   |
| 2:10:09 | どういう点でわかったってことなんですかちょっと私この辺の考えが。   |
| 2:10:15 | ついていけなかったんですけども。   |
| 2:10:20 | 九州電力の井藤です。こちらについてなんですけどまずこのナンバーワンについては、もう、ある図面の字句の修正だと思って、                                   |
| 2:10:31 | この委託先の承認者も担当者の方に指示を出しているというところですよ。実際にこの担当者自体は、前年度のファイルまでさかのぼってファイルを参照しにいくと。                  |
| 2:10:43 | いう行為をやっているんですけども、ですので、ちょっとそういったこ行為を知らなかったので承認者としては、我々の問題点の方でも出てくるように、                        |
| 2:10:53 | 字句の変更箇所にしか目が行かなかったと、いうふうに考えております。実際にこのファイルを参照しにいくという作業自体を、担当者、承認者間でコミュニケーションをきちんと作業方法をとってれば、 |
| 2:11:08 | 参照元のファイルが正しいか、そういった確認になったというところで今回この原因として、コミュニケーションといったところを挙げさせていただいております。                   |
| 2:11:18 | はい、わかりましたコミュニケーションちょっとちゃんと取ってたら、チェック方法自体がちょっと変わってただろうという説明ですね。                               |
| 2:11:25 | はい。考えはわかりました。  |
| 2:11:36 | はい。他、よろしいですか。  |
| 2:11:41 | そうすると、   |
| 2:11:44 | はい。  |
| 2:11:45 | 一応、こちら一旦他社と同じようにですね、   |
| 2:11:51 | 会合にということでは考えているんですけども、一応ここの説明御社としては、是正措置計画の承認だとか、そういう点は笠間さんが、先週の時点ですかね。                      |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



|         |   |
|---------|---|
| 2:12:02 | で終わっているのです、当然その時点で何をやると決めているんですから、今からそこが変わるはずは、当然御社の中で社内プロセスがあれば別ですけど、はずはないので、                                  |
| 2:12:13 | なので、明らかに、ちょっとここ、先ほどの確認の過程で、確かに書き方は明らかに事実等を公認を生むような記載だなというのがあれば、   |
| 2:12:26 | そこは少し適正化をするというところはもし必要なら、今おっしゃっていただきたいですけども、そうでなければ基本的にこれ御社の中でプロセスを経てこういう、                                      |
| 2:12:37 | 原因分析をしたこういうことをやるというふうに決めてる話なので、ここで変わり得るものではないかなと、例えばさっきのちょっと思い込みなんですかという話もありますけど、一応でも御社の中で思い込みによる、              |
| 2:12:50 | 元の誤りだというふうに整理しているので、それは何か今の時点で変わるわけではないはずなので、   |
| 2:13:00 | もちろんこの御社の中のC A P会議とかでかけた原因分析のところでそう書いてないんだけど、今回のこの資料上書いていて、それが5分出るのはまた別ですけど、                                    |
| 2:13:11 | 一応御社の中でそういう整理されてるんであれば、それをこれから、   |
| 2:13:15 | 直すということはなかりうと思えますけども、他に単に今回この資料化するときに、少しわかりにくかったさっきのそのメールで添付したのが、何だったのかっていうのはちょっと事実等、少し語弊があったようなので、そういう点だとかですね。 |
| 2:13:31 | そこら辺はもし必要なら   |
| 2:13:34 | 直していただきたいかなと、必要最小限ですよ。  |
| 2:13:38 | もしどこかありますかそういう点でここは、確かにちょっと確認を受けて語弊がありそうだったのでというのがあれば、お聞きますけど。  |
| 2:14:05 | ナンバーワンとナンバーツーのところの委託で何を渡して指示をしたのかっていうところと、あとあれですから、作業のルール化のところは誰が、  |
| 2:14:16 | どういう人がルール化をするのかっていう部分ですか。   |
| 2:14:19 | はい。   |
| 2:14:22 | はい。   |
| 2:14:29 | 九州電力浜田でございます。   |
| 2:14:32 | 衛藤は、年、  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 2:14:34 | 今までのお話の中でですね、今出てきました先ほど   |
| 2:14:41 | お話いただきました仮称の修正は   |
| 2:14:44 | されるということとあと、原因分析の結果ですね  |
| 2:14:50 | ご指摘いただいた  |
| 2:14:53 | 右下 18 ページのですね、思い込みのデータ性の誤りというような表現<br>にしましてはですね社内で精査しまして、   |
| 2:15:01 | 原因分析の結果としましてもですね我々の知見が間違っていて間違っていると<br>いいますか表現がおかしいということであればもう一度 C A P 会議に諮<br>る等ですね修正のプロセスを経まして、 |
| 2:15:13 | それを一旦諮った上で御社としてはクローズ、クローズじゃないんです<br>けど御社としては、あった上でなので、何かここで事実確認があったか<br>らといって、                    |
| 2:15:25 | それ、それを元に考え直します言ったら何とかこれ平場で会合で審議す<br>る意味ないので、  |
| 2:15:32 | はい。もともと御社が 3 月 3 日時点で測っているものと、この資料にそ<br>ごがあるんだったら、それは正していただいて、適正化していただくっ<br>ていうそういう趣旨です。          |
| 2:15:41 | はい。九州電力の明石でございま失礼いたしました。鈴木さん今おっし<br>ゃった、て教えていただいた通り当社としては社内での審議議論も不                               |
| 2:15:52 | 踏まえてまとめる間、思い込みという表現云々がありましたけどもそ<br>ういうふうに整理しているのが現状ですので、  |
| 2:15:59 | 何よりも濃いヒアリング事実確認の場ですので、まずはこの事実確認を<br>いただいた後で当社として現時点判断してるものをもって、会合にかけ<br>させていただきますんで、              |
| 2:16:12 | 当社として何かいろいろ改めるところがあるとするその会合でご議論を<br>させていただきます、そのあとになろうかと思えます。以上でございま<br>す。                        |
| 2:16:25 | はいよろしく申し上げますあとですねその意味でいうと、別にこれは多<br>分御社の中での判断分析とは関係ない部分だと思うんですけど、とうと<br>う川内も確認しましたと。              |
| 2:16:37 | 後の臨界だけでしたっていう説明流れは、   |
| 2:16:40 | あれです。ちょうどどこかに川内と玄海とで、会社が違うですとかそこ<br>は違うとか、委託先の報告書と、その同一の  |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 2:16:51 | 今回図面編集者が同一の会社であるとかそういうファクトなので、そこはわかりやすくしてもらっていいですかねどこに書くのがいいか7ページがいいのかな。             |
| 2:17:00 | ちょっとどうかですけどう。  |
| 2:17:03 | うん。  |
| 2:17:06 | 何とか何もないと。これ、川内で玄海共通の資料構成とかも全体にってるので同じ会社なのかなと思って、白地では見るので、                            |
| 2:17:17 | ちょっとそこぐらいかなあ。  |
| 2:17:22 | もちろんこれから川内の会社の側で、川内の方で担当してる会社の方に、  |
| 2:17:27 | しゃべりはしてるんですけど、   |
| 2:17:38 | ちょっとその世代も含めてチェックしましたっていうこととその先から出てくるこの委託先っていうところ、これは玄海の方の話なんで、                       |
| 2:17:45 | ちょっとねそこら辺をなんか入口のところで少しわかりやすく整理していただきたいんですけど2ページでもいいのかもしれないですけどね。                     |
| 2:17:59 | 九州電力の明石でございます。もちろんそこを何か大々的に書くところではないと思いますけどもファクト事実として、                               |
| 2:18:09 | 把握できるように、  |
| 2:18:11 | どこなのかね2ページ、2ページか。  |
| 2:18:14 | 先ほどありました、何ページだっけ7ページ。  |
| 2:18:18 | で、委託先とあるけども、何か※か何か振って、川内と玄海は別々ですよっていうのがわかるぐらい表現するかなと思います。多分この先で委託先に何々したとか、委託先において確認。 |
| 2:18:32 | スタートまでもつとか川内の方で委託先にも確認してるやつもあるんですよねこれ。   |
| 2:18:38 | 違うのかなと。これちょっと川内の方の委託先にもう、  |
| 2:18:42 | 何だ、類似の事象がないかの確認をだから川内の方の委託先に申しているんですよね例えば10ページの方とかだと、                                |
| 2:18:51 | ここで言うと、  |
| 2:18:53 | 安全としたい品しない場合は委託先にとっているこの委託先には川内の方の委託先と玄海の方の委託先が入って、                                  |
| 2:19:01 | 実は   |
| 2:19:04 | 小丸ところだと。   |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |  |
|---------|--|
| 2:19:06 | 思い込みなりコミュニケーション不足があるって言っていた草刈委員会の方ではあるので、何か、必ずしもこう、この資料の中で委託先で言えば玄海の方ですっていうほどの、                    |
| 2:19:17 | カチッとした定義ではないんでしょうから、   |
| 2:19:20 | ちょっとどこかでわかるようにというか、一応、川内と玄海でそれは別々の会社ですというのは、   |
| 2:19:30 | 別に大々的に書く話ではないと思いますけどね。はい。ちょっとそこはなんかは、ここの議論に参加する人というか、見た人が、どっちの印象、同じだろうと思ってちょっと強く読んでいくと、また変わってくるので、 |
| 2:19:45 | そこはわかるようにしてください。   |
| 2:19:47 | そんなところですかね。はい。   |
| 2:19:49 | なるほどちょっとどうしてもファクトとして誤開しづらい部分は軽微に直していただくとしてもそれ多分1日ぐらいかなと思いますけど。                                     |
| 2:20:00 | よろしいですかね。  |
| 2:20:03 | はい。  |
| 2:20:05 | 1日ぐらいで、そこら辺は修正いただいて、   |
| 2:20:10 | そんなに何度もヒアリングする案件ではないですから早めに介護の方にかけるようにしたいと思います。  |
| 2:20:20 | その時にそちらから何かご質問なければ終了しますけど、   |
| 2:20:32 | 規制庁のナグラで最初にちょっと質問してて、  |
| 2:20:36 | 現状の改善措置活動の承認とか実施状況、  |
| 2:20:41 | これって、5日以後にかけるかっていうことあるんですけど、会合時点。  |
| 2:20:47 | どういう状況にあるのかっていうステータ数はわかるようにしていただきたいなと思います。   |
| 2:20:54 | 九州電力の赤瀬でそれを資料に落としておくという意味ですかそれとも、  |
| 2:21:01 | その介護でのご説明のときに、   |
| 2:21:04 | 例えば、8ページで全体の流れはこう示しますけども今自営状態精査多数はここですということが、  |
| 2:21:12 | そこでご説明できればよろしいでしょうか。   |
| 2:21:16 | 何が完了していて何が完了していないのか、ここに書いてある。  |
| 2:21:20 | 活動内容。  |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

|         |   |
|---------|---|
| 2:21:23 | その中で、てっという古藤が、  |
| 2:21:26 | 介護時点の情報として、   |
| 2:21:29 | 一部入ってるんですけど9ページとか、2月16日に月中7とかっていう、なるほどね、完了したものがいつ完了したのかっていう話と、あと今実施中のものはまだ何なのかっていうところが、 |
| 2:21:42 | 何かわかるようになってる等、ステータスがよくわかるんですけどね。  |
| 2:21:47 | 九州の江村です。理解いたしました確かに先ほどご質問をいただいている、この場で事実としてご説明しましたのでその間完了しているもののその記述を含めたファクト、           |
| 2:21:59 | 事実についてはちゃんととしてそれ以外のものは、まだi n gであるということがわかるように、明確化いたします。はい。                              |
| 2:22:20 | はい。一応そんなに何度もヒアリングとかっていう話は考えてないので、基本的には直近だと時なんで来週ですかね、17日の案件かなと思ってすみません今日細々と聞いた次第です。     |
| 2:22:44 | 多分御社としても一応社内プロセス的にはキャップの方で、会議で議論をして思ってるでしょうから、当然その前提。                                   |
| 2:22:54 | であれば速やかに多分審議をしたいんだというのは思いますので、  |
| 2:22:59 | こちらとしても、来週、   |
| 2:23:02 | 金曜日の方の議題にエントリーするつもりで考えているということです。   |
| 2:23:08 | はい。特に本店も含めてよろしければ、以上で終了したいと思いますよろしいですかね。どうもなかなかお疲れ様でした。                                 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。